

日本化学会第 97 春季年会(2017)のご案内

第 97 春季年会実行委員会

主催	公益社団法人日本化学会
共催	慶應義塾大学理工学部
協力	公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー
後援	神奈川県, 川崎市, 横浜市
会期	2017年3月16日(木)~19日(日)
会場	慶應義塾大学 日吉キャンパス (神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1)
実行委員長	鈴木孝治 (慶應義塾大学理工学部・教授)
日程と内容	3月16日(木): AP・ATP・受賞講演・特別企画・ポスター・展示会・ATPポスター・ATP交流会など 3月17日(金): AP・ATP・受賞講演・コラボレーション企画・ポスター・展示会・会長講演・表彰式・懇親会・Chem-Station イブニングミキサーなど 3月18日(土): AP・ATP・受賞講演・コラボレーション企画・ポスター・展示会など 3月19日(日): AP・受賞講演・特別企画・ノーベル賞特別講演会・ニホニウム決定特別講演会など
問合先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 会期前 電話(03)3292-6163 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 会期中 電話(045)564-8027 ※3月16日~19日 URL: http://www.csj.jp/nenkai/97haru/

上記のとおり、日本化学会第97春季年会(2017)が開催されます。多くの会員の皆様が、本年会にご参加下さいますようお願い申し上げます。本号では、①当日登録、②会期中併催のイベント・シンポジウム情報をご案内申し上げます。

1. 当日登録のご案内

本年会への参加をご希望される方は、年会会場内の総合受付にて参加登録手続きを行って下さい。参加登録費は下表のとおりです。ただし、本誌P298~P304に掲載の併催イベントへの参加の場合、本年会への参加登録は原則不要です。詳細は掲載ページにてご確認下さい。※併催イベントのうち、ノーベル賞特別講演会、TCRレクチャーは参加登録が必要です。

■第97春季年会では、参加登録費の変更をいたします(第85春季年会以来、12年ぶり)。

■熊本地震被災者の皆様、甚大な被害が生じたことに、心より哀悼の意を表し、被災された方々にお見舞いを申し上げます。本年会では会員に限らず、被災地の方の参加登録費を減額いたしました。

★「一般」当日 10,000円 「学生」当日 4,000円

■中高生会員の皆様、本年会では参加登録は不要(無料)となります。奮ってご参加下さい。ただし、本年会で講演をする場合は、参加登録をしていただく必要がございます。その際には、「学生会員割引」にてお申し込み下さい。

■実行委員会では、海外の研究者や国内の外国人研究者、留学生が参加しやすい環境整備を進めています。昨年に引き続き、参加登録費の負担に配慮した下記の参加登録区分を設定します。※会員・非会員を問わず、参加申込の際に選択が可能です。

★「外国籍(一般)」当日 10,000円 ★「外国籍(学生)」当日 4,000円

表1: 参加登録費等

会員区分	料金	課税区分
正会員	18,000円	不課税
正会員割引*1	10,000円	
学生会員(化学と工業を選択した学生)	6,000円	
教育学生会員(化学と教育を選択した学生)	7,000円	
学生会員割引*2	4,000円	
教育会員	10,000円	課税
法人正会員*3	18,000円	
非会員	30,000円	
入会準備学部学生*4	2,000円	
外国籍(一般)*5	10,000円	
外国籍(学生)*5	4,000円	

*1 満60歳以上で定職に就いていない方

*2 学部3年以下の方(専攻科1年以下の高専生を含む)(通称:ジュニア会員)

*3 日本化学会の法人会員に登録している機関に所属の方

*4 研究発表を行わない非会員(未入会)の大学の学部学生および高等専門学校(高専)の学生が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集DVDは含まない。当日登録の際には学生証(コピー可)を必ずご提示下さい。

*5 会員・非会員を問わず、外国籍の方が対象。

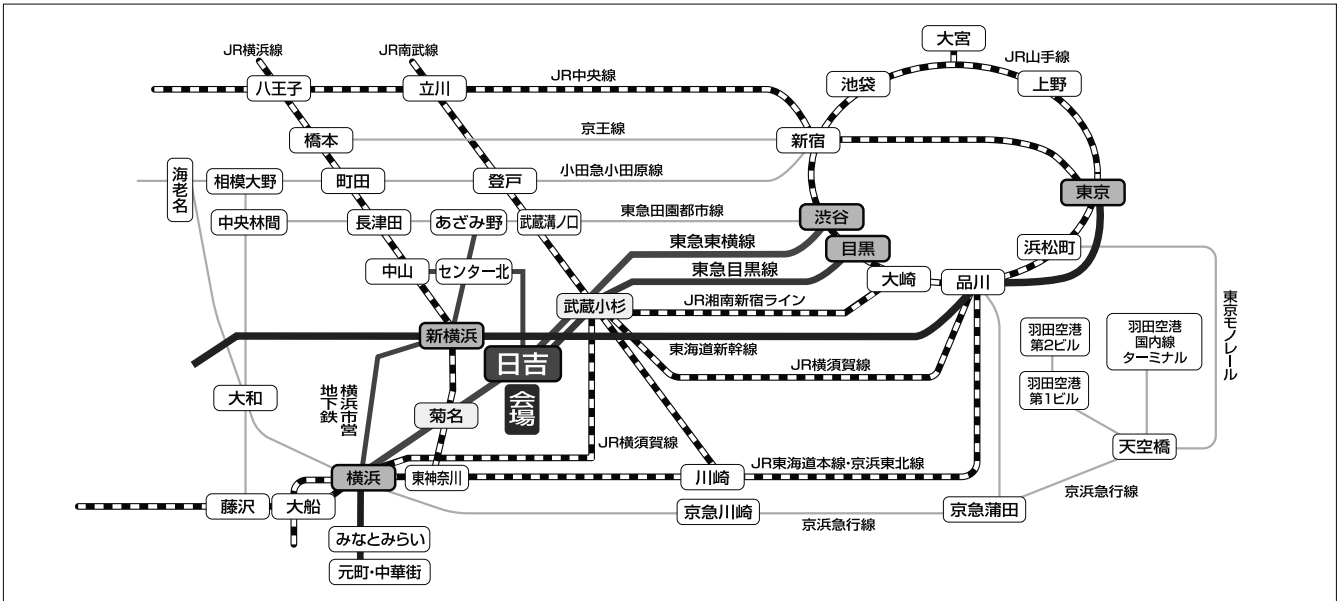
表2: 追加予稿集代・懇親会費

内容	料金	課税区分
講演予稿集(DVD)	10,000円	課税
懇親会費(一般)*1	8,000円	
〃(学生)*1	8,000円	

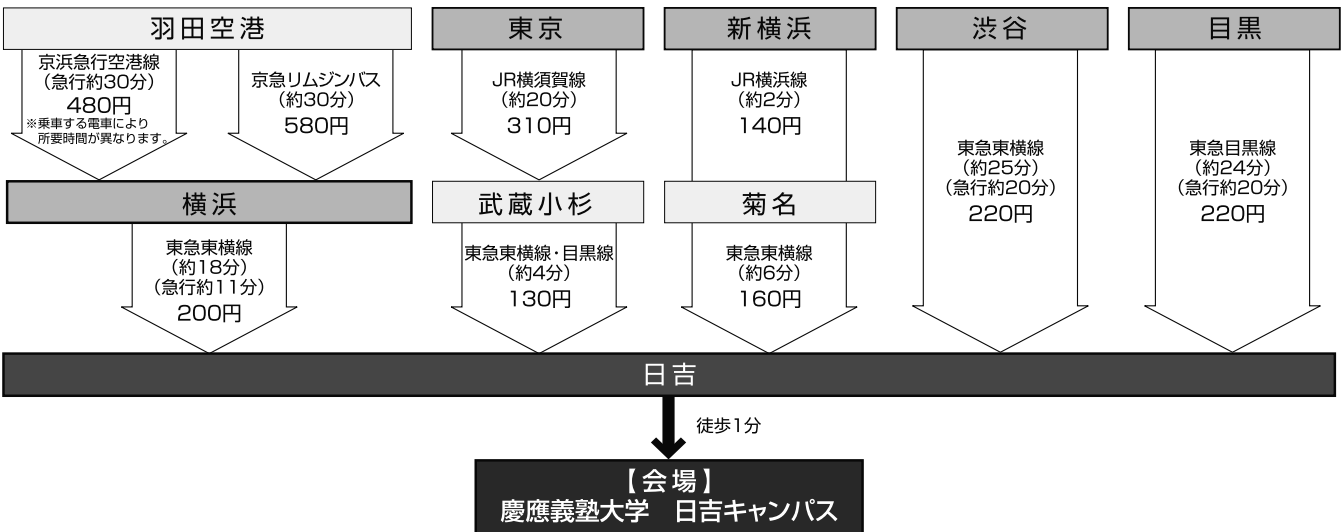
*1 先着順。定員に達し次第、受付を終了。予約で定員に達した場合、当日の受付はいたしません。

日本化学会 第97春季年会 慶應義塾大学 日吉キャンパス アクセスマップ

■主な路線図



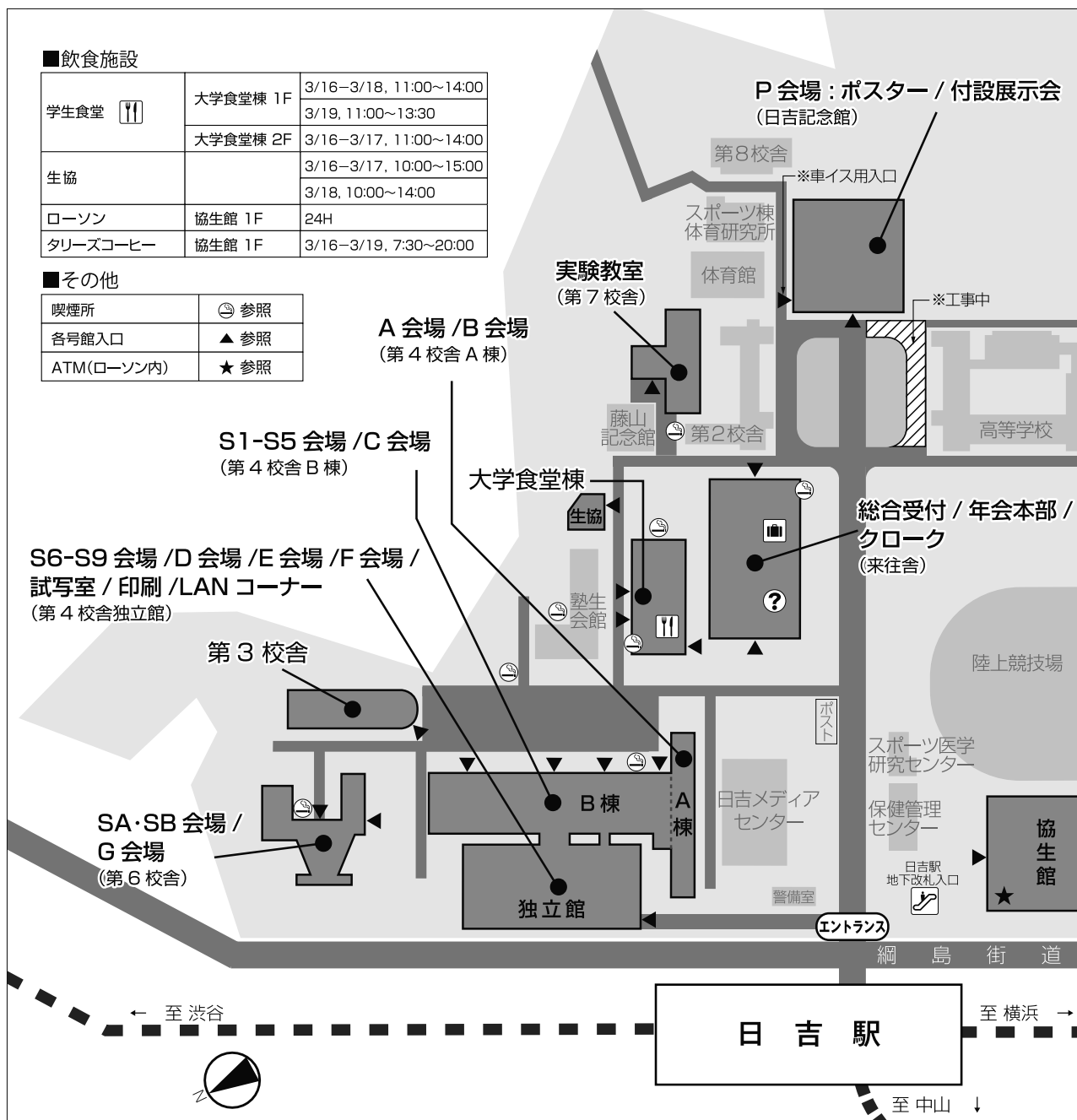
■主要駅・空港から会場への主なルート



- ※ 東急東横線、東急目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン「日吉駅」下車、改札を出て徒歩1分
- ※ 東急東横線の特急は日吉駅に停車しません

- ※ キャンパス内に駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- ※ 上記の時間はあくまで目安です。交通所要時間は、余裕を持って想定してください。
- ※ 会場最寄駅では、券売機が混み合いますので、帰りのきっぷはあらかじめご購入ください。
- ※ 上記運賃は、現金での金額を明記しております。
(ICカードの場合とは金額が異なります)

日本化学会 第97春季年会 慶應義塾大学 日吉キャンパスマップ



会場案内

会場名	建物
総合受付	来往舎
クローク	来往舎
試写室	第4校舎独立館 3F
印刷/LANコーナー	第4校舎独立館 3F
年会本部	来往舎
S1-S5会場	第4校舎 B棟
S6-S9会場	第4校舎独立館
SA・SB会場	第6校舎
実験教室	第7校舎

会場名	建物
A会場	第4校舎 A棟
B会場	第4校舎 A棟
C会場	第4校舎 B棟
D会場	第4校舎独立館
E会場	第4校舎独立館
F会場	第4校舎独立館
G会場	第6校舎
P会場	日記記念館
付設展示会	日記記念館

日時	名称	場所
3/16(木) 17:30~19:00	男女共同参画懇親会	大学食堂棟 2F SABOTEN(Express)
3/16(木) 18:00~19:30	ATP交流会	大学食堂棟 2F
3/17(金) 17:30~19:30	Chem-Station イブニングミキサー	大学食堂棟 1F
3/17(金) 18:00~20:00	懇親会	協生館 2F クイーン・アリス

日本化学会第97春季年会(2017)

建物名・フロア		教室名	会場記号	3月16日 AM	P	3月16日 PM	3月17日 AM	P	3月17日 PM
第4校舎 (A棟)	1	J413	A1	11. 分析化学	PB	11. 分析化学			
		J414	A2	12. 高分子			PC	12. 高分子	
		J415	A3	12. 高分子			PC	12. 高分子	
		J416	A4	01. 化学教育・化学史			PC	01. 化学教育・化学史	
		J417	-	休憩室					
	2	J421	A5		PA	20. 環境・グリーンケミストリー		20. 環境・グリーンケミストリー	
		J422	A6		PA	19. エネルギーとその関連化学、地球・宇宙化学			
		J423	A7	21. 理論化学・情報化学・計算化学			PA	21. 理論化学・情報化学・計算化学	
		J424	A8			13. 触媒	PA	13. 触媒	
		J425	A9			13. 触媒	PA	13. 触媒	
		J427	-	休憩室					
	4	J441	B1		PA	02. 物理化学-構造			
		J442	B2		PA	03. 物理化学-物性			
		J443	B3		PA	04. 物理化学-反応			
		J444	B4		PA	14. コロイド・界面化学		アジア国際シンポジウム(コロイド)	
		J445	B5		PA	14. コロイド・界面化学			
		J446	B6		PA	14. コロイド・界面化学			
		J447	-	休憩室					
	第4校舎 (B棟)	1	J11	S1	企) レドックス化学		中) 人工光合成		
			J12	C1	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー			PB	10. 生体・バイオ
			J13	C2			10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PB
J14			C3	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー			PB	10. 生体・バイオ	
J19			C4	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー			PB	10. 生体・バイオ	
2		J21	C5			22. 有機結晶		アジア国際シンポジウム(有機結晶)	
		J22	C6	09. 天然物化学			PB	09. 天然物化学	
		J23	C7	09. 天然物化学			PB	09. 天然物化学	
3		J24	S2	企) 革新的細胞システム解析		中) 柔らかさと分子の新機能		委) 日本人英語からの脱却	
		J29	S3	企) 分子夾雑化学		中) 分子技術		中) 動的表面・界面錯体化学	
		J32	S4	企) 二次元物質の科学		企) 生体分子超機能			
		J33	C8	99. ケミカルバイオロジー				PB	99. ケミカルバイオロジー
第4校舎 独立館	B2F	DB201	D1	T2B. セルロースナノファイバー-2017			T1A. 実用化を志向した太陽光エネルギー変換の最新技術		
		DB202	D2	T3A. 未来医療を支える生体適合性材料			T2A. IoT・AI社会に貢献するマテリアル社会システム実現に向けて		
		DB203	S6	企) 分子空間化学		企) ルミネッセンス化学		委) 論説フォーラム	
	1	D101	S7	企) ものづくり合成戦略		企) ハイブリッド自己組織化		委) 論説フォーラム	
		D201	D3	08E. 有機化学-有機金属化合物	PB	08E. 有機化学-有機金属化合物		委) 論説フォーラム	
		D202	D4	08E. 有機化学-有機金属化合物	PB	08E. 有機化学-有機金属化合物		委) 論説フォーラム	
		D205	D5/S8	T2D. 革新的膜工学の研究最前線				T2C. これからの"ものづくり"とバイオメティクス	
		D206	-	休憩室					
		D301	E1	15. 材料化学	PB	15. 材料化学			
		D302	-	試写室					
		D303	E2	08E. 有機化学-有機金属化合物	PB	08E. 有機化学-有機金属化合物			
		D304	E3				PB	08A. 脂防族・脂環式化合物	
		D305	-	印刷・LANコーナー					
		D306	E4			17. 材料の応用			
	3	D307	E5	08A. 有機化学-脂防族・脂環式化合物			PB	08A. 脂防族・脂環式化合物	
		D308	E6	08A. 有機化学-脂防族・脂環式化合物			PB	08A. 脂防族・脂環式化合物	
		D309	E7	16. 材料の機能					
		D310	E8	08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物			PB	08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物	
		D311	E9	T1C. 次世代二次電池開発の最新動向				T1B. 水素技術が拓く新エネルギー社会	
		D312	S9	企) バイオ分析法を極める		委) 先端研究・ヒット商品開発の舞台裏		委) ランチョンキャリア相談会	
		D403	F1	08B. 有機化学-芳香族化合物	PB	08B. 有機化学-芳香族化合物			
		D404	-	休憩室					
		D406	F2	08C. 有機化学-複素環化合物					
		D407	F3				PA	08F. 有機化学-有機光化学	
		D408	F4			08H. 有機化学-ハイスループット合成			
	4	D409	F5	07B. 有機化学-反応機構	PB	07B. 有機化学-反応機構		08G. 有機化学-有機電子移動化学	
		D410	F6			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
		D411	F7			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
		D412	F8			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
		D413	F9			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
		D413	F9			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
		D413	F9			07A. 有機化学-構造と物性		PC	
	来往舎	1	イベントテラス	-	総合受付				
			ギャラリー	-	クローク				
			シンポジウムスペース	-	年会本部				
	第6校舎	1	J612	G1	05. 無機化学	PB	05. 無機化学		
			613	SA	学会賞				会長講演、表彰式
			614	G2	06. 錯体化学・有機金属化学			PA	アジア国際シンポジウム(錯体化学)
		2	622B	-	休憩室				
623			SB					学会賞	
3		J631	G3	06. 錯体化学・有機金属化学			PA	06. 錯体化学・有機金属化学	
		J632	G4	06. 錯体化学・有機金属化学			PA	06. 錯体化学・有機金属化学	
		J634	G5	06. 錯体化学・有機金属化学			PA	06. 錯体化学・有機金属化学	
第7校舎	3	734	-						
日吉記念館	1	ホール	P	付設展示会/ポスター					
建物名・フロア		教室名	会場記号	3月16日 AM	P	3月16日 PM	3月17日 AM	P	3月17日 PM

●分類名の前の数字/記号…[01-22, 99…アカデミック・プログラム][T1-T3…ATP]、[企…特別企画]、[コラボ…コラボレーション企画]、[中…中長期テーマ]、[委…委員会企画]、[特…外国人の特別講演]
 ●会場記号…[企、コラボ、中、委]の実施時のみS1～SB会場として使用。それ以外はA1～G5会場として使用
 ●ポスター…日吉記念館にて3月16日-18日の3日間で実施。時間帯はPA(10:00-11:30)、PB(12:30-14:00)、PC(15:00-16:30)の3種類

日程表

2017/2/10

3月18日 AM	P	3月18日 PM	3月19日 AM	3月19日 PM	教室名	会場記号
11. 分析化学					J413	A1
12. 高分子		アジア国際シンポジウム(高分子)	12. 高分子		J414	A2
12. 高分子			12. 高分子		J415	A3
01. 化学教育・化学史					J416	A4
休憩室					J417	-
	PA	18. 資源利用化学			J421	A5
19. エネルギーとその関連化学、地球・宇宙化学					J422	A6
					J423	A7
13. 触媒					J424	A8
13. 触媒					J425	A9
休憩室					J427	-
アジア国際シンポジウム(物理化学/理論化学・情報化学・計算化学)-分子科学会共催-			02. 物理化学-構造		J441	B1
03. 物理化学-物性					J442	B2
04. 物理化学-反応					J443	B3
14. コロイド・界面化学					J444	B4
14. コロイド・界面化学					J445	B5
14. コロイド・界面化学					J446	B6
休憩室					J447	-
委) CSJ ジャーナル フォーラム		委) 化学遺産市民講座	企) 複合極限化学	企) 1分子物性	J11	S1
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					12	C1
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					13	C2
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					J14	C3
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー		アジア国際シンポジウム(天然物/生体機能)	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー		J19	C4
	PA	22. 有機結晶			J21	C5
09. 天然物化学					22	C6
09. 天然物化学					23	C7
委) 日中フォーラム			企) 多様な電池技術		J24	S2
委) 日英シンポジウム			企) 放射光小角X線散乱	企) 配位アシンメトリー	J29	S3
		中) Ex vivo バイオデバイス	企) 光機能性ソフトクリスタル	企) 最新発光測定技術	32	S4
99. ケミカルバイオロジー					33	C8
					39	S5
T1A. 実用化を志向した太陽光エネルギー変換の最新技術					DB201	D1
T1D. 省エネルギー社会を目指した革新的化学製品製造プロセス					DB202	D2
		市民公開講座 ～驚きのかぐく～	ノーベル賞/ニホニウム特別講演会	企) 先端計測—機器開発と共用	DB203	S6
コラボ) 超空間制御			企) 複合アニオン化合物の化学	企) 超分子のシナジー現象	D101	S7
08E. 有機化学-有機金属化合物		アジア国際シンポジウム(有機/環境・グリーン)	08E. 有機化学-有機金属化合物		D201	D3
08E. 有機化学-有機金属化合物					D202	D4
	T3B.	センシング技術が切り開く未来のヘルスケア	企) 高難度変換反応の開発		D205	D5/S8
休憩室					D206	-
15. 材料化学					D301	E1
試写室					D302	-
08E. 有機化学-有機金属化合物					D303	E2
					D304	E3
印刷・LANコーナー					D305	-
17. 材料の応用	PA	17. 材料の応用			D306	E4
08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物					D307	E5
08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物					D308	E6
16. 材料の機能	PA	アジア国際シンポジウム(光化学)	16. 材料の機能		D309	E7
08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物					D310	E8
	T3C.	未来のヘルスケアを切り拓くバイオベンチャー			D311	E9
委) ICRLレクチャー2017		委) 環境・安全シンポジウム	企) 液相高エネルギー化学		D312	S9
08B. 有機化学-芳香族化合物					D403	F1
休憩室					D404	-
08C. 有機化学-複素環化合物	PB	08C. 有機化学-複素環化合物			D406	F2
08F. 有機化学-有機光化学					D407	F3
08H. ハイスループット合成	PB	08H. ハイスループット合成			D408	F4
08G. 有機化学-有機電子移動化学	PB				D409	F5
07A. 有機化学-構造と物性					D410	F6
07A. 有機化学-構造と物性					D411	F7
07A. 有機化学-構造と物性					D412	F8
07A. 有機化学-構造と物性					D413	F9
総合受付					イベントテラス	-
クローク					ギャラリー	-
年会本部					シンポジウムスペース	-
05. 無機化学		アジア国際シンポジウム(無機/資源)			J612	G1
学会賞		委) 第24回化学教育フォーラム			613	SA
06. 錯体化学・有機金属化学					614	G2
休憩室					622B	-
		化学オーケストラ			623	SB
06. 錯体化学・有機金属化学					J631	G3
06. 錯体化学・有機金属化学					J632	G4
06. 錯体化学・有機金属化学					J634	G5
実験教室 ～不思議なカラマジック!～					734	-
付設展示会/ポスター					ホール	P
3月18日 AM	P	3月18日 PM	3月19日 AM	3月19日 PM	教室名	会場記号

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月17日(金) 15時30分～17時10分
会場：SA会場(第6校舎1階613)

プログラム

15:30- 会長講演

「分子が開く破壊的イノベーション」

平成28, 29年度会長 山本 尚

16:10- 表彰式

スプリングコンサート2017

日時：3月18日(土) 16時～17時
会場：SB会場(第6校舎2階623)

今回の「スプリングコンサート」は、例年の日程とは異なり、春季年会3日目に開催いたします。

化学オーケストラ：

日本化学会会員を中心に広く化学関係者によって2002年に結成された音楽団体で、日本化学会春季年会の「スプリングコンサート」、および秋の「千代田区オーケストラフェスティバル」にて演奏を披露しています(オケフェス：2017年10月21日(土)、大手町・日経ホール)。

また、国際交流にも熱心で、2011年にはドイツ化学会年会(ブレーメン)、2015年には環太平洋国際化学会議(ホノルル)で各国の化学者やアマ・プロオケ奏者と演奏を共にしています。

プログラム：序曲特集

有名作曲家による様々なスタイルの序曲を集めてみました。それぞれ元ネタとなる題材のストーリーやシンボリックな旋律・音色をご堪能いただきながら、名だたる大作曲家がどのように短い序曲に凝縮したのかを、指揮者の解説とともに楽しみ下さい。

1. モーツァルト/歌劇「魔笛」序曲
 2. ベートーベン/序曲「コリオラン」
 3. シューベルト/劇付随音楽「ロザムンデ」序曲
 4. J. シュトラウスII/喜歌劇「こうもり」序曲
- 指揮：宮野谷 義傑(オーケストラトウキョウ音楽監督)

参加費：無料

問合せ先：日本化学会事務局 保倉 光邦

E-mail: hokura@chemistry.or.jp

http://chemical.world.coocan.jp/orchestra/index.htm

懇親会

日時：3月17日(金) 18時～20時
会場：クイーン・アリス ガーデンテラス日吉
(慶應義塾大学日吉キャンパス 協生館2階)

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、是非お問い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般8,000円、学生8,000円

申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

※先着順。定員に達し次第、受付を終了。予約で定員に達した場合、会期中の受付はいたしません。

ATP 交流会

日時：3月16日(木) 18時～19時30分
会場：大学食堂棟2階 グリーنزマルシェ

気軽に立ち寄れる出会いと交流の場を、春季年会参加者の皆様に提供します。ATPセッションのオーガナイザーや講師、ATPポスター講演者も多数参加し、face-to-faceで交流できる、願ってもないチャンスです。アルコール、ソフトドリンク、軽食とともに、素敵なプレゼント抽選会などお楽しみも盛り沢山!是非お誘い合わせてATP交流会へお立ち寄り下さい。学生は参加費無料です!!

参加費：学生無料、一般1,000円

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 白石・坂下

電話(03)3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月17日(金) 17時30分～19時30分
会場：大学食堂棟1階

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場をChem-Stationより提供いたします。※詳細はWEB(<http://www.chem-station.com>)をご覧ください。

参加費：無料(※飲物は参加者が購入するスタイル)

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

実験教室 ～不思議なカラーマジック!～

日時：3月18日(土)
会場：第7校舎3階 理工学部基礎教室734 化学実験室

私たちの身のまわりで化学がどのように役立っているかを広く知ってもらうために、小学生を対象とした実験教室を開催いたします。

プログラム

「ムラサキイモの色水を使った不思議な実験」&「消える絵!」

実施全4回 (1) 10:00- (2) 11:30- (3) 13:30- (4) 15:00-

(実施時間は約1時間)

参加費：無料

申込方法：事前申込制(先着順)。

WEB(<http://www.csj.jp/nenkai/97haru/5-2.html>)の申込フォームよりお申込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

元素ネイル体験 ～オリジナルネイルを作ろう～

日時：3月16日(木)～18日(土) 12時～16時
会場：日吉記念館

「化学をもっと身近に！」おしゃべりは手元から。自分の好きな元素記号で指先を飾ってみませんか？ オリジナルの元素ネイルを作成できます。

【O・Mo・Te・Na・Si】のように、元素記号を組み合わせて言葉を作るのも楽しい!!

参加費：無料
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

市民公開講座 ～驚きのかかく～

日時：3月18日(土) 13時25分～17時
会場：S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム
13:30- 創業の楽しさと難しさ(ペプチドリーム) 舂屋 圭一
14:20- ガウディと深海と化学(海洋研究開発機構) 出口 茂
15:10- 進化する不可能立体:脳が作り出す不条理の世界(明治大) 杉原 厚吉
16:20- 年会落語(落語協会) 三遊亭 歌武蔵他
参加費：無料
申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 年会係
電話(03)3292-6163
E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会
協力：(株)化学工業日報社

後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会
日時：3月16日(木)～18日(土) 10時～17時
会場：日吉記念館
参加費：無料
出展社：(2月2日現在)

(株)アイシス、朝日分光(株)、アステラテック(株)、アヅマックス(株)、American Chemical Society、(株)アントンパール・ジャパン、(株)池上精機、Wavefunction, Inc.、HPCシステムズ(株)、英文校正エナゴ/論文翻訳ユレイタス、エルゼビア・ジャパン(株)、大塚電子(株)、オプトシリウス(株)、国立研究開発法人科学技術振興機構、化学情報協会、(株)化学工業日報社、(株)化学同人、カクタス・コミュニケーションズ(株)、関東化学(株)、九州大学大学院 分子システムデバイスコース、(株)共立理化学研究所、(有)桐山製作所、(株)グループボックス・ジャパン、(株)クロスアビリティ、(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン、(株)講談社、コーニングインターナショナル(株)、コンフレックス(株)、(株)サイダ・FDS、(株)三永電機製作所、三共出版(株)、CEM Japan(株)、重松貿易(株)、システム・インストルメンツ(株)、(株)システムハウス・サンライズ、柴田科学(株)、ジャパンハイテック(株)、シュプリング・ネイチャー、シュレーディンガー(株)、昭光サイエンス(株)、スペクトリス(株)パナリティカル事業部、(株)ダイセル、田中貴金属グループ、(株)DFC、(株)デジタルデータマネジメント、Taylor & Francis、テンプスタッフ(株)、(株)東京インストルメンツ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京ダイレック(株)、東京理化工機(株)、中山商事(株)、ナカライテック(株)、(株)日報化学品法規情報センター、公益社団法人日本化学会 会員委員会、公益社団法人日本化学会学術情報部、公益社団法人日本技術士会 化学部会、(株)日本サイエンスコア、一般社団法人日本試薬協会、日本製紙クレシア(株)、日本電子(株)、日本ニューメリカルアルゴリズムズグループ(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、(株)パーキンエルマー・ジャパン、バイオタージ・ジャパン(株)、(株)バキューブランド、サイエンティフィック ジャパン、浜松トニクス(株)、ハリオサイエンス(株)、ビー・エー・エス(株)、ヒドラス化学(株)、兵庫県立大学ピコバイオロジー専攻(リーディング大学院)、フィルジェン(株)、(株)フォーディクス、富士通(株)、分子・物質合成プラットフォーム/テクノロジープラットフォームセンター、分子化学研究所大学連携研究設備ネットワーク、丸善雄松堂(株)、丸善出版(株)、メトラー・トレド(株)、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、(株)リガク、ロイヤルソサエティ・オブ・ケミストリー、(株)ワイエムシィ、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

ノーベル賞特別講演会

日時：3月19日(日) 10時30分～11時30分
会場：S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

第97春季年会実行委員会では、北里大学特別栄誉教授 大村智先生(北里研究所)によるノーベル賞特別講演会を企画いたし



ケムステ イブニングミキサー
Chem-Station Evening Mixer 2017

今年は特別企画あり!

「若手研究者は論文よりも100人の友」

3月17日(金) 17:30より慶應義塾大学日吉キャンパス食堂1Fで開催
対象：全分野の大学生・大学院生・若手研究者 | 参加無料(1ドリンク制100円) | 主催：Chem-Station, 日本化学会

ました。講演は、質疑応答含め1時間を予定しております。

プログラム

10:30- 微生物創薬と国際貢献(北里研究所) 大村 智

参加費: 年会参加者に限る。申込不要。

問合せ先: 日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

「ニホニウム」正式決定記念, 特別講演会

日時: 3月19日(日) 11時45分~12時45分
会場: S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

113番目の元素が我が国の理化学研究所森田グループによって発見され、昨年末、正式にnihonium(和名ニホニウム、元素記号Nh)と命名されました。科学の長い歴史の中で、アジアの研究者による元素発見は初めての事です。今回、研究グループメンバーである羽場宏光博士の講演会を企画し、研究の意義、実験の設備、発見の瞬間などを、わかりやすく解説いただくことになりました。科学の専門家に限らず、一人でも多くの中高生、一般の方々への聴講を希望しています。

プログラム

新元素 ニホニウムの発見一理研・森田グループからの詳細報告(理研) 羽場宏光

参加費: 無料

申込方法: 事前申込不要。当日会場にて受付。

問合せ先: 日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2017

主催: エルゼビア・ジャパン株式会社
日時: 3月17日(金) 13時30分~17時
会場: S7会場(第4校舎独立館 1階 D101)

Reaxys PhD Prizeは、2010年にエルゼビアが設立した若手研究者向けの国際的な賞として徐々に拡大しており、今日に至るまで500を超える大学から3,000件以上の応募をいただいています。

本年のReaxys Prize Clubシンポジウムでは、恒例となりました特別講演および2016年迄のReaxys PhD Prize受賞者とファイナリストからなるReaxys Prize Clubの若手研究者による講演をはじめ、論文の著者向けのワークショップや、電子ジャーナルの活用法等のセッションを企画しております。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

プログラム

13:30- 開会挨拶(東大院理 統括プロジェクト機構・特任教授) 中村 栄一

13:40-14:30 特別講演

特殊ペプチド創薬イノベーション(東大院理・教授) 菅 裕明

14:30-14:55 招待講演

(仮題)自己集合が導き出す新しい多面体型錯体群(東大院工・助教/JST さきがけ(兼任)) 藤田 大士

14:55-16:15 Reaxys Prize Clubメンバーの講演

・14:55- 巨大環状張ボルフィリンの芳香族性(千葉大院薬・助教) 米田 友貴

・15:15- 光をエネルギー源とする有機分子への二酸化炭素取り込み反応(京大院工) 増田 侑亮

・15:35- マレーシア産コブシアアルカロイドの全合成(東大院薬/千葉大院薬/理研・博士研究員) 中島 誠也

・15:55- ナノ空間で誘起される発光増強現象(北大院工・助教) 石田 洋平

16:15-16:50 著者向けワークショップ

エルゼビア・ジャパン(株)リサーチソリューションズ ソリューションコンサルタント 高橋 昭治

16:50- 質疑応答

17:00- 閉会挨拶

※上記プログラム内容には予告なく変更が入る場合があります。

参加費: 無料

申込方法: 申し込み不要(学会参加者)、直接会場にお越し下さい。

問合せ先: エルゼビア・ジャパン株式会社

リサーチソリューションズ マーケティング担当 駒村

106-0044 東京都港区東麻布 1-9-15

東麻布 1丁目ビル 4階

電話(03)5561-5034(代表) FAX(03)5561-0451

E-mail: jp.pr@elsevier.com

ご案内: エルゼビアは、展示ブースも出展しております。ブースではオンライン製品やジャーナルのご紹介およびデモンストレーション、新刊書籍のサンプル展示等を予定しております。

AMED・HFSP シンポジウム ~国際グラント・フェローシップ への招待~

主催: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

日時: 3月17日(金) 13時30分~16時

会場: S6会場(第4校舎独立館 地下2階 DB203)

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)は生体の精妙かつ複雑なメカニズムに焦点を当てた革新的、学際的、かつ新規性を備えた基礎研究を支援する国際グラントです。研究対象は、細胞構造における詳細な分子状態から、神経システム科学における複雑な相互作用にまで及びます。特に、ライフサイエンス以外の分野(物理学、数学、化学、情報科学、工学等)の科学者達の専門知識を活用した、独創的な最先端の共同研究に大きな重点を置いています。

本シンポジウムでは、過去の研究グラントやフェローシップの受賞者に国際・学際的共同研究の魅力をお話いただきます。国際共同研究や海外留学にご関心がある方は是非お越し下さい。

プログラム

13:30- 挨拶 AMED

13:40- 研究グラント/若手研究グラントの紹介

HFSP グラント審査委員
金城 政孝(北大院生命科学)

14:00- 2008年若手研究グラント受賞者 田中 好幸(徳島文理大薬)

14:20- 質疑応答

14:30- 休憩

14:40- フェローシップの紹介

HFSP フェローシップ審査委員
原田 慶恵(大阪大蛋白質研)

15:00- 2009年フェローシップ受賞者

川上 隆史(山梨大生命環境学)

15:20- 2009年フェローシップ受賞者

石川 春人(大阪大院理)

15:40- 質疑応答

参加費: 無料

問合せ先: 日本医療研究開発機構国際事業部国際連携研究課 古川 修平

100-0004 千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 23F

電話(03)6870-2215 FAX(03)6870-2215

E-mail: international@amed.go.jp

ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム(HFSP)

<http://www.amed.go.jp/program/list/03/01/044.html>

CREST & さきがけ 「超空間制御」合同シンポジウム ~超空間が拓く革新的機能と 新素材~

主催: 国立研究開発法人科学技術振興機構

日時: 3月18日(土) 10時~16時

会場: S7会場(第4校舎独立館 1階 D101)

CREST さきがけ「超空間制御」研究領域が発足してから3年半が経ち、合同シンポジウムも3回目を迎えます。第95、96日本

化学会春季年会では「超空間を舞台とする新しい化学」と題し、「超空間」を主役とした化学への可能性について講演を行いました。今回はより現実的になってきた革新的機能、素材を中心に報告いたします。また、さきがけでは、今年度最終年度となる第一期研究者の研究成果をわかりやすく説明いたします。いずれも挑戦的でキラリと光る独創的な課題であり、重要な成果が生まれたものと思います。ご期待下さい。

プログラム

- 10:00- CREST 趣旨説明 (三菱化学) 瀬戸山 亨
10:15- 超イオン伝導パスを拓く階層構造による結晶相界面デザイン (信州大) 手嶋 勝弥
10:40- アニオン超空間を活かした無機化合物の創製と機能開拓 (京大) 陰山 洋
11:05- 超空間制御触媒による不活性低級アルカンの自在転換 (早大) 関根 泰
11:30- テーラーメイドナノ空間設計による高機能高分子材料の創製 (京大) 植村 卓史
13:00- さきがけ主旨説明 (早大理工学術院) 黒田 一幸
13:10- 分子レベルで制御された次世代キラル超空間の創製と機能開拓 (金沢大) 生越 友樹
13:25- 階層的ナノ空間内の擬高压光反応による新規導電材料の創製 (信州大) 藤森 利彦
13:40- 応力で自在に変形する超空間をもつグラフェン系柔軟多孔性材料の調製と機能開拓 (東北大) 西原 洋知
13:55- 細孔性結晶を用いた微量薬物の分解・代謝過程の可視化 (北大) 猪熊 泰英
14:10- ナノ粒子の高次空間制御による高効率光エネルギー変換系の創製 (神戸大) 立川 貴士
14:30- 電荷分離空間の創製と革新的機能の展開 (京大) 樋口 雅一
14:45- 遷移金属酸化物薄膜で形成されたメソ空間での固体触媒機能の発現 (東工大) 野村 淳子
15:00- イオン結晶の階層的構築と吸着・輸送・変換場への応用 (東大) 内田 さやか
15:15- メソポーラス材料を基盤とする新規フォトニクス材料の創製 (京大) 村井 俊介
15:30- 高次ナノ超構造体の空間空隙を主導パラメータ群とする高効率光電変換物質の計算科学的デザイン (京大) 金 賢得
15:45- ゼオライト骨格中ヘテロ原子の直接観察とサイト制御 (阪大) 阪本 康弘
- 参加費：無料 (定員 100 名)、申し込み不要
領域 URL：http://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112062.html
http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/research_area/ongoing/bunyah25-3.htm
問合せ先：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部「超空間制御」研究領域 酒部
102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町
電話 (03) 3512-3531 FAX (03) 3222-2063
E-mail: kenichi.sakabe@jst.go.jp

就活生・若手研究者大集合！ 先端研究・ヒット商品開発の舞台裏 (男女共同参画シンポジウム)

主催：日本化学会 男女共同参画推進委員会
日時：3月16日(木) 15時～17時15分
会場：S9会場 (第4校舎独立館 3階 D312)

男女共同参画推進委員会では、産官学で活躍されている若手～中堅の研究者・技術者に、これまでの研究や技術開発、仕事に対するモチベーションや楽しさ・苦勞についてご紹介いただきます。また、将来のキャリアパスに対する考えもお話しいただくとともに、参加者と意見交換させていただきます。様々な分野で活躍されている研究者・技術者のこれまでの取り組みや考えを知ることは、これから就職活動が始まる学生や、これから自分自身で研究を展開していこうとしている若手研究者の皆さんにとって、何よりの参考となるのではないかと思いますので、是非ご参加下さい。

プログラム

- 15:00- 趣旨説明・開会挨拶
15:05- 女性化学者奨励賞 受賞者の紹介

- 15:15- 第1部 企業での仕事を語る
皮脂汚れが勝手に落ちていく?!～身体洗浄剤における新しい洗浄技術とその裏側～(花王 マテリアルサイエンス研) 加賀谷 真理子
自分を見つめよう (帝人 高機能繊維事業本部) 神山 三枝
有機EL材料開発の楽しみと課題～企業で働く研究員としての心得～(住友化学 先端材料開発研究所) 張 春穎
- 16:00- 第2部 アカデミアでの仕事を語る
アカデミアでの仕事のオンオフ～アメリカ留学から学んだこと～(九大水素エネルギー国際研究センター) 林 灯
高専教員として私が工夫していること～教育と研究を両立させる方法～(宇部高専物質) 廣原 志保
開発技術の社会実装を目指して～働く母の奮闘記～(東北大院工) 北川 尚美
- 17:10- 閉会挨拶
17:30- 交流会 (無料 (学生歓迎)) 社会人からの情報提供・アドバイス
- 参加費：無料
申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 竹内 恵
電話 (03) 3292-6163
E-mail: danjo@chemistry.or.jp

論説フォーラム：徹底討論！ グローバル社会をリードする 化学者になろう！

主催：日本化学会 論説委員会
日時：3月17日(金) 10時～12時30分
会場：S6会場 (第4校舎独立館 地下2階 DB203)

2005年から化工誌に「論説」が創設されて以来、これまで140篇余に及ぶ論説で「人材育成」「科学思想」「政策提言」「化学産業競争力」「大学・研究機関の体制」「科学と社会」に加えて「グローバル化」も大きなテーマとなっています。そこで、「グローバル社会をリードする化学者になろう！」をメインテーマに設定し、野依良治先生に基調講演をいただくとともに、論説委員およびゲストライターの方々から、個々の経験をもとにご意見を5分間程度でご披露いただき、討論する場を設定しました。学生会員を含め、多数の来場とご意見を歓迎いたします。

プログラム

- 総合司会：菅 裕明 (東京大学)
- 10:00- 趣旨説明 玉尾 皓平 (日本化学会論説委員会委員長, 理研)
- 10:05- 基調講演
「我が国の科学技術の国際競争力、国際協調力」
野依 良治 (JST CRDS センター長)
- 10:50- パネルディスカッション
1) 世界に仲間を作ろう
山本 尚 (日本化学会会長, 中部大学・元シカゴ大学)
上杉 志成 (京都大学・元米国ペイラー医科大学)
上野 京子 (化学情報協会)
- 2) 大学・研究機関・企業の現場から
山内 薫 (東京大学)
橋本 和仁 (内閣府 CSTI・物材機構)
射場 英紀 (トヨタ自動車株式会社)
- 3) 日本化学会の取組み
山本 尚 (日本化学会会長, 中部大学・元シカゴ大学)
澤本光男 (日本化学会国際交流委員会委員長, 京都大学)
- 4) フリーディスカッション
- 参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 美園, 田中
電話 (03) 3292-6165
E-mail: ronsetsu@chemistry.or.jp

あなたの将来を考える ランチオン相談会 ～企業が求める化学者像～

主催：日本化学会 産学交流委員会 人材交流小委員会

日時：3月17日(金) 11時30分～13時
会場：S9会場(第4校舎独立館3階 D312)

今後の世界が直面する温暖化問題、食料・水問題等の解決には、科学技術をベースとしたイノベーションが必要とされています。その科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人財が変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画では、企業が求める化学者像を理解してもらい、ランチオン相談会で、企業の研究者、研究管理者とともにあなたの将来のキャリアパスについて考える機会を設けます。特に博士課程への進学に悩んでいる方にとっては、またとない機会になること間違いありません。

プログラム

11:30- 話題提供『企業が求める化学者像』(東レ) 長瀬 公一
11:45- 企業研究者および企業研究管理者自己紹介
研究者：脇田 潤史(東レ)、松田 豊(味の素)、染谷 尚宏(ニコン)、池田 明博(BASF ジャパン)、他数名を予定。
管理者：長瀬 公一(東レ)、岩畑 大悟(味の素)、矢作 和行(花王)、元永 彰(三菱レイヨン)、松本 啓(BASF ジャパン)
12:00- ランチオングループディスカッション
13:00- 退場
参加費：無料(年会登録者に限る)
対象：学生
申込方法：Webよりお申込み下さい。(先着50名)
<https://goo.gl/uq4bnt>
席数に余裕がある場合には、当日の朝10時より総合受付付近にて整理券配布予定です。
問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬
電話(03)3292-6163
E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

ここがポイント、 日本人英語からの脱却

主催：日本化学会 国際交流委員会
日時：3月17日(金) 13時30分～14時30分
会場：S2会場(第4校舎(B棟)2階J24)

サイエンスがグローバル化している現在において、自分の研究の素晴らしさを理解してもらうためには英語が必須である。伝えたいことを正確かつわかりやすく伝える、その基本的なことができる英語力を身に付けなければ自分の研究を理解してもらえない。本企画はカートハウス先生(千歳科技大)をお招きし、英語発表における日本人にありがちなミスをしないための留意点やアピール技術の向上について講演をいただく。

プログラム

13:30- ここがポイント、日本人英語からの脱却(千歳科学技術大学) Olaf Karthaus
参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 企画部 中村 史夫
電話(03)3292-6163
E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2017

主催：日本化学会・Wiley-VCH
日時：3月18日(土) 11時～11時50分
会場：S9会場(第4校舎独立館3階 D312)

日本の化学関係8学協会のジャーナルとして刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルをいたしました。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクト・ファクターを含むビジビリティも着実に向上しております。山本 尚編集委員長による編集体制の下、本年も年會に併せてTCR Lectureを開催いたします。多くの皆様の参加をお願いいたします。

プログラム

Asymmetric Catalysis with Peptides and Other Bioinspired Catalysts Prof. Helma Wennemers (ETH Zürich)
参加費：無料(年会登録者に限る)
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 TCR 係
電話(03)3292-6165
E-mail: tcr@chemistry.or.jp

CSJ ジャーナルフォーラム 「ジャーナルへの投稿を考える。 アクセプトされ、引用される 論文を書くために」

主催：日本化学会
協力：カクタス・コミュニケーションズ(株)
日時：3月18日(土) 10時～12時
会場：S1会場(第4校舎(B棟)1階J11)

日本化学会が刊行するジャーナル2誌(BCSJ, CL)は、国際的なビジビリティの向上に向けて様々な取り組みを行っている。これらの活動を理解いただくために、春季年會でジャーナルフォーラムを開催している。本年は「ジャーナルへの投稿を考える」と題し、何がacceptとrejectを分けるのか、引用され影響力のある論文を書くために心がけるべきKnow-How等に関して、カクタス・コミュニケーションズ(株)に協力をいただきセミナーを実施する。さらに両誌編集委員長から議論をいただく予定である。日頃からジャーナルを活用され、投稿を考えている研究者、学生の皆さんに是非参加いただきたい。

プログラム

10:00- 日本化学会の2誌(BCSJ, CL)の取り組み
(ジャーナル戦略委員長) 玉尾 皓平
10:20- アクセプトされる論文の書き方
カクタス・コミュニケーションズ 講師 西川 マリ
11:10- 「影響力のある論文を書くために」
～高被引用著者でもある両誌編集委員長から～
(CL編集委員長) 塩谷 光彦
(BCSJ編集委員長) 有賀 克彦
11:40- Q & A
参加費：無料
申込方法：当日、会場にて受付
問合せ先：日本化学会 学術情報部 鈴木、中谷
電話(03)3292-6165
E-mail: ejournals@chemistry.or.jp

第8回 日英シンポジウム

主催：日本化学会(CSJ)
共催：英国王立化学会(RSC)
日時：3月18日(土) 9時～17時
会場：S3会場(第4校舎(B棟)2階J29)

本シンポジウムは日本化学会の国際交流活動の一環として英国王立化学会と共同で開催するものです。

第一回は2007年3月87年会(関大)にて開催、第二回2008年9月(Belfast, UK)、第三回2010年7月(RSC, Burlington House, UK)、2011年中止、第四回2013年3月93年会(立命館大)、第五回2014年7月(Dublin, UK)、第六回2015年3月95年会(日大)、そして第七回2016年6月(London, UK)、そして今回は第八回目開催となります。

今回は“プラズモニクスの新展開”をテーマに、岡本 裕巳氏(分子研)、坪井 泰之氏(阪市立大)を日本側リーダーとし、英国側リーダーにはProf. Malcom Kadodwala(グラスゴー大)を迎え英国から6名の招待講演者を招き、日本側においても同数程度の講演者によりシンポジウムを開催します。

プログラム

9:00- Opening Remarks; Robert Parker (CEO, RSC)
9:10- Recent Developments in Plasmonics: Introduction (Institute for Molecular Science) Hiromi Okamoto

- 9:20- Site-selective Nanoscale-polymerization via Plasmon Induced Charge Separation (Kyushu Univ.) Yukina Takahashi
 10:00- Investigating Functional Materials using Surface Plasmon Resonance Spectroscopy (Univ. of Bath) Petra J. Cameron
 11:00- Spectral Properties of Plasmon-Molecule Hybrid States and Coupled Plasmonic Systems (Hokkaido Univ.) Kosei Ueno
 11:40- Metamaterials for Reactive Plasmonic Applications (King's College London) Wayne Dickson
 13:30- Space and Temporal Properties of Plasmons in a Single Metal Nanoplate Revealed by Scanning Near-field Optical Microscopy (Waseda Univ.) Kohei Imura
 14:10- Photonics at the Biomedical Interface: Intracellular Surface-enhanced Raman Spectroscopy (Univ. of Southampton) Sumeet Mahajan
 15:10- Alloy Plasmonic Materials for Sensor Applications (Yokohama National Univ.) Yoshiaki Nishijima
 15:50- Chemical Applications of Nanophotonic: Probing the Structure of Soft Matter with Chiral Nanostructures (Univ. of Glasgow) Malcolm Kadodwala
 16:30- Plasmonic Optical Tweezer toward Molecular Manipulation (Osaka City Univ.) Yasuyuki Tsuboi
 17:10- Closing Remarks; Hisashi Yamamoto (President, CSJ)
 参加費：無料
 申込方法：当日、会場にて受付
 問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子
 電話(03)3292-6163
 E-mail: inada@chemistry.or.jp

第7回 日中若手化学者 フォーラム

主催：日本化学会 (CSJ)
 共催：中国化学会 (CCS)
 日時：3月18日(土) 9時~17時
 会場：S2会場 (第4校舎 (B棟) 2階 J24)

2009年3月に締結した『日中国際協力協定』に基づき、第1回を2010年中国化学会年会(厦門大学)、第2回2012年中国化学会年会(四川大學)、第3回2013年93年会(名大)、第4回2014年中国化学会年会(北京大學)、第5回2015年95年会(日大)、第6回2016年中国化学会年会(大連理工大)で開催。日中各10名程度の若手化学者で行ってきました。今回は“Frontier in Organic Synthesis toward Middle Molecular Strategy”をテーマにすえ、深瀬浩一氏(阪大院理)と土井隆行氏(東北大院薬)を日本側リーダーとし、中国側リーダーにはProf. Biao Yu(上海有機化学研究所)を迎え中国から6名の招待講演者を招き、日本側においても6名の講演者によりフォーラムを開催します。将来の日中間ネットワークの基盤構築を目的として、若い世代が向き合い、サイエンスだけでなく、個人的な人間関係を構築しながら両国の理解を深める機会となることを期待しています。

プログラム

- 9:00- Opening Remarks; Hisashi Yamamoto (President, CSJ)
 9:05- Introductory Talk (Osaka Univ.) Koichi Fukase
 9:10- Aromatic Molecules: Decarbonylative Coupling and Multiple Arylation (Waseda Univ.) Junichiro Yamaguchi
 9:40- C-H Functionalization Strategy for Chemical Synthesis of α -Amino Acids and Complex Peptides (Nankai Univ.) Gong Chen
 10:20- Synthesis and Biological Evaluation of Antibiotic Polyketides (Keio Univ.) Yoko Saikawa
 10:50- Natural Product Synthesis Facilitated by Ligand Design (Shanghai Institute of Organic Chemistry) Wenjun Tang
 11:20- Synthesis of Monomers for Spectomycin B1, A Middle Size SUMOylation Inhibitor Molecule (Kyushu Univ.) Go Hirai
 13:10- Remote Activation of O/S-Benzyl Glycosides in Latent-Active Glycosylation (Huazhong Univ. of Science and Technology) Qian Wan
 13:40- Development of the Novel Cancer Immunotherapy Utilizing α -Gal (Osaka Univ.) Yoshiyuki Manabe
 14:10- Type II Intramolecular [5+2] Cycloaddition (South Univ. of Science and Technology of China) Chuang-Chuang Li
 14:50- Aryl Fluorides: a Versatile Synthetic Platform for Natural Product Synthesis (Tokyo Institute of Technology) Ken Ohmori

- 15:20- Total Synthesis of Bioactive Natural Products: Efficiency and Diversity (East China Normal Univ.) Shuanhu Gao
 16:00- Development of Chemical Assembly Lines Generating Skeletally Diverse Natural Products and Their Variants (Tokyo Univ. of Agriculture and Technology) Hiroki Oguri
 16:30- Complex Natural Product as a Driving Force for Discovery in Organic Synthesis and Chemical Biology (Peking Univ.) Xiaoguang Lei
 17:00- Closing Remarks; Biao Yu (Shanghai Institute of Organic Chemistry)
 参加費：無料
 申込方法：当日、会場にて受付
 問合せ先：日本化学会 企画部 稲田 恵美子
 電話(03)3292-6163
 E-mail: inada@chemistry.or.jp

環境・安全シンポジウム 「化学物質のリスクアセスメント」

主催：日本化学会 環境安全推進委員会
 日時：3月18日(土) 13時30分~16時50分
 会場：S9会場 (第4校舎独立館 3階 D312)

大学および研究施設における安全のレベルアップに向けた関係者の啓発および情報交換を目的として環境安全推進委員会主催のシンポジウムを開催する。

大学および研究施設では、使用する化学物質やその使用法は工場などの事業所のように画一的ではないため、実験ごとに危険を把握して対策することが求められる。そのため、物質や作業の潜在危険性を洗い出すリスクアセスメントは、実験安全のレベルアップの有効なツールとして期待されている。化学物質のリスクアセスメントが労働安全衛生法で義務化された機会に、リスクアセスメントの手法と大学や研究施設での有効な活用について考え、情報交換するために本シンポジウムを企画した。化学会年会という場を活用して、多くの関係者に参加頂き、有用な意見・情報交換の場としたい。

プログラム

- 13:30- 挨拶と趣旨説明(環境安全推進委員会 委員長/東大) 土橋 律
 13:40- 化学物質のリスクアセスメントの進め方(研究機関, 化学産業向け) (安衛研・上席研究員) 島田 行恭
 14:30- 休憩
 14:40- 大学における化学物質リスクアセスメントの活用事例(阪大安全衛生管理・教授) 山本 仁
 15:30- 化学物質のリスクアセスメントとラボのリスク軽減(名大院環境・教授) 村田 静昭
 16:20- 総合討論
 参加費：無料。希望者には別途資料を有料配布(1,000円)
 申込方法：直接会場にお越し下さい。
 問合せ先：日本化学会 企画部 河瀬
 電話(03)3292-6163
 E-mail: env_safe@chemistry.or.jp

その他：当日、シンポジウム会場前の受付にて「安全な実験室管理のための化学安全ノート 第3版」を販売します。なお、販売する書籍は展示会会場(日吉記念館)の丸善出版ブースでもお求め頂けます。

第11回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会化学遺産委員会・化学史学会
 共催：日本化学工業協会
 日時：3月18日(土) 13時30分~17時
 会場：S1会場 (第4校舎 (B棟) 1階 J11)

化学遺産委員会では、平成21年度から化学関連の学術あるいは化学技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでの7回38件をそれぞれ認定・顕彰した。平成28年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補23件の調査・検証作業を行った。今回の市民講座では、本年度第8回化学遺産として認定予定の具体的な内容を紹介する。

プログラム

総合司会 (名古屋産業振興公社 産学連携コーディネータ) 亀山 哲也

- 13:30- 開会挨拶 (化学遺産委員会委員長/京大名誉) 植村 榮
13:40- 辻本満丸博士の先駆的偉業—魚油や肝油が日本の産業を支えた時代の世界的な油脂化学者—
(産総研) 山岡 正和
14:15- 低温技術の進歩と日本の酸素工業の発祥・発展—認定化学遺産『日本の酸素工業の発祥と発展を示す資料』に学ぶ—(医研) 新井 和孝
14:50- 除虫菊との出会いから“夏の風物詩”蚊取り線香の発明と殺虫剤産業の発展へ (大日本除虫菊:顧問) 南手 良裕
15:25- 休憩
15:40- 近代化粧品工業を築いた明治の企業家たち (日本化学会フェロー) 田島 慶三
16:15- 天然ガスかん水を原料とするヨウ素の工業生産 (合同資源:技術顧問) 海宝 龍夫
16:50- 閉会挨拶 亀山 哲也
参加費: 無料。希望者には別途資料有料配布 (予価 1,000 円)
申込方法: 日本化学会化学遺産のページよりお申込み下さい。当日参加もできます。
URL: <http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/>
問合せ先: 日本化学会 企画部 河瀬, 飛渡
電話 (03) 3292-6163
E-mail: chemarch@chemistry.or.jp

第 24 回化学教育フォーラム 高大接続～ペーパーテスト 偏重からの脱却～

主催: 日本化学会 教育・普及部門
日時: 3月18日(土) 13時30分～17時
会場: SA 会場 (第6校舎 1階 613)

高等学校の授業は、小・中学校に比べると講義中心のものが多く、評価も定期考査などのペーパーテストを中心としている傾向があるといわれる。これに対して、高等学校で教える内容は多く、知識を問う問題を中心とする大学入学試験がある限り、高等学校

現場ではそれに対応する教育をしていかなければならないという声が聞かれる。昨年度の化学教育フォーラムでのアクティブラーニングをテーマにしたパネルディスカッションの中でも、そのような話が出ていた。

2016年3月には、「高大接続システム改革会議」の最終答申が出され、そこでは、高等学校教育改革、大学教育改革、そして大学入学選抜改革としていくつかの提言がなされ、「高等学校基礎学力テスト」および「大学入学希望者基礎学力テスト」(現在のセンター試験に代わるもの)の実施が示されたが、これは高大大一となった大規模な教育改革についての提言であるといえる。

講義中心でない授業や多面的な評価を実施している高等学校の教員や、ペーパーテスト以外の評価を重視した受け入れ制度を実施している大学の教員などからその状況を報告していただき、多面・多角的視点から高等学校教育と大学入学制度について議論をしたい。

プログラム

- (13:30～13:45)
1. 開会の挨拶
2. 趣旨説明
(13:45～14:30) 講演時間 各 40 分
3. 「高大接続システム改革会議 (最終報告)」に関して (文部科学省 高等教育局・高大接続改革 PT 専門官) 福澤 光祐
(14:30～15:50) 講演時間 各 15 分
4. 高大連携・飛入学 (千葉大学大学院工学研究科・教授) 工藤 一浩
5. AO 入試・推薦入試 (筑波大学アドミッションセンター (数理工学系)・准教授) 松井 亨
6. 高等学校での総合学習・卒業研究の大学進学にどうつながるのかの評価 (東京大学教育学部附属中等教育学校・教諭) 荒井 恵里子
7. Computer-Based Testing (CBT) 問題の試作 (富山県立富山北部高等学校・教諭) 山下 卓弥
(16:15～17:00)
8. パネルディスカッション
9. 閉会の挨拶
参加費: 無料
申込方法: 直接、会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 企画部 大倉
電話 (03) 3292-6164
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

第 97 春季年会プログラム [会場別]
アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)は P. 313 ~
アカデミックプログラム(AP)は 春季年会ウェブサイトにてご覧ください

S1 会場
第4校舎(B棟)J11

サステイナブル・機能レドックス化学

3月16日午前

(9:30~9:35)

1S1-01 特別企画講演 趣旨説明 (東工大物質理工) ○稲木信介 (09:30~09:35)

座長 跡部 真人 (9:35~10:50)

1S1-02 特別企画講演 高分子レドックス化学が拓く機能材料創製 (東工大物質理工) ○稲木信介 (09:35~09:50)

1S1-03 特別企画講演 有機レドックス化学が実現するオリゴ糖の液相自動合成 (鳥取大院工) ○野上敏材 (09:50~10:10)

1S1-04 特別企画講演 機能性色素のレドックス制御とオプトエレクトロニクスデバイスへの展開 (広島大工) ○大山陽介 (10:10~10:30)

1S1-05 特別企画講演 有機電解と有機金属の協奏的レドックス化学に基づく分子構築 (岡山大院自然) ○光藤耕一 (10:30~10:50)

座長 菅 誠治 (10:50~11:50)

1S1-06 特別企画講演 有機レドックス化学に基づく C-H 結合の官能基化 (京大院工) ○清水章弘 (10:50~11:10)

1S1-07 特別企画講演 レドックス化学に基づく炭素-炭素結合形成 (阪大院工) ○雨夜 徹 (11:10~11:30)

1S1-08 特別企画講演 バイオインスパイアード触媒のレドックス特性を活かしたサステイナブル分子変換 (九大院工) ○鳥越 恒 (11:30~11:50)

座長 伊藤 敏幸 (11:50~12:40)

1S1-09 特別企画講演 有機レドックス化学への期待 (京大院工) ○吉田潤一 (11:50~12:30)

人工光合成フロンティア 2017

3月16日午後

(13:30~13:40)

1S1-10 中長期企画講演 Opening remark (首都大院都市環境) ○井上晴夫 (13:30~13:40)

座長 稲垣 伸二 (13:40~14:05)

1S1-11 中長期企画講演 光捕集の最先端 (立命館大院生命科学) ○民秋 均 (13:40~14:05)

座長 八木 政行 (14:05~14:30)

1S1-12 中長期企画講演 水の酸化の新展開 (首都大院都市環境) Fazalurahman Kuttassery・Siby Mathew・Sebastian Nybin Remello・Arun Thomas・山本大亮・小貫聖美・鍋谷 悠・立花 宏○井上晴夫 (14:05~14:30)

座長 前田 和彦 (14:30~14:55)

1S1-13 中長期企画講演 可視光応答性光触媒材料を用いた水分解による高効率水素生成 (東理大理) ○工藤昭彦 (14:30~14:55)

座長 森川 健志 (14:55~15:20)

1S1-14 中長期企画講演 可視光による CO₂還元 (東工大) ○石谷治 (14:55~15:20)

座長 井上 晴夫 (15:30~15:55)

1S1-15 中長期企画講演 アンモニアの人工光合成 (北大電子研) ○三澤弘明 (15:30~15:55)

座長 井上 晴夫 (15:55~16:20)

1S1-16 中長期企画講演 光化学系 II による可視光を利用した水分解の反応機構 (岡山大院自然) ○沈 建仁 (15:55~16:20)

座長 民秋 均 (16:20~16:45)

1S1-17 中長期企画講演 天然光合成と人工光合成の励起状態分子ダ

イナミクス (関西学院大理工) ○橋本秀樹 (16:20~16:45)

座長 石谷 治 (16:45~17:10)

1S1-18 中長期企画講演 半導体光触媒を用いた人工光合成系の新展開 (京大院工) ○阿部 竜 (16:45~17:10)

(17:10~17:20)

1S1-19 中長期企画講演 Closing remark (岡山大院自然) ○沈 建仁 (17:10~17:20)

CSJ ジャーナルフォーラム
「ジャーナルへの投稿を考える。アクセプトされ、引用される論文を書くために」

3月18日午前

(10:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第 11 回化学遺産市民公開講座

3月18日午後

(13:30~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

極限状態が織りなす新しい化学の世界

3月19日午前

(9:30~9:40)

4S1-01 特別企画講演 趣旨説明 (岡山大理) ○大久保貴広 (09:30~09:40)

座長 大久保 貴広 (9:40~11:00)

4S1-02 特別企画講演 MOF による反応空間制御とその利用 (東農工大院工) ○近藤 篤 (09:40~10:00)

4S1-03 特別企画講演 多様な環境下における疎水効果 (岡山大基礎研・岡山大理) ○甲賀研一郎 (10:00~10:20)

4S1-04 特別企画講演 電場振動下にある生体模倣表面での分子会合挙動 (東大院工) ○伊藤喜光 (10:20~10:40)

4S1-05 特別企画講演 多様な平衡/非平衡空間における自己集合化 (山形大理) ○並河英紀 (10:40~11:00)

座長 小倉 卓 (11:10~12:30)

4S1-06 特別企画講演 炭化水素ナノドメインを利用した超臨界 CO₂中での水クラスター形成 (弘大院理工) ○鷺坂将伸・吉澤 篤・Eastoe Julian (11:10~11:30)

4S1-07 特別企画講演 新しい界面選択的非線形分光法で見えはじめた界面水の超高速ダイナミクス (理研田原分子分光研) ○二本柳聡史 (11:30~11:50)

4S1-08 特別企画講演 多様な材料表面間の閉じ込め液体の特性評価 (東北大多元研) ○粕谷素洋 (11:50~12:10)

4S1-09 特別企画講演 X線を利用した固液界面その場観察 (物材機構 AMCP) ○増田卓也 (12:10~12:30)

1 分子から見える分子の性質

3月19日午後

(13:30~13:35)

4S1-10 特別企画講演 趣旨説明 (阪大産研) ○谷口正輝 (13:30~13:35)

座長 谷口 正輝 (13:35~14:45)

4S1-11 特別企画講演 ナノ粒子の原子レベル構造制御と触媒応用 (九大 I₂CNER) ○山内美穂 (13:35~14:05)

4S1-12 特別企画講演 機能性材料によるデバイス特性シミュレーション: 分子からトポロジカル絶縁体まで (産総研 CD-FMat) ○中村恒夫 (14:05~14:25)

4S1-13 特別企画講演 単一スピン制御のための単分子コンタクトの理論的研究 (東工大元素戦略研セ) ○多田朋史 (14:25~14:45)

- 座長 多田 朋史 (14:55~16:25)
- 4S1-14 特別企画講演** 分子の空間選択性に基づく単結晶酸化物ナノワイヤの創成と分子センサ・メモリデバイスへの展開 (九大先端研) ○柳田 剛 (14:55~15:25)
- 4S1-15 特別企画講演** 単分子発光・吸収分光法を用いた、孤立2分子間のエネルギー移動の可視化 (理研 SISL) ○金 有洙 (15:25~15:45)
- 4S1-16 特別企画講演** 機械的な力を利用した単分子メモリの開発 (東工大院理工) ○木口 学 (15:45~16:05)
- 4S1-17 特別企画講演** 外部電界による分子軌道の変形を利用した整流特性の発現 (阪大院基礎工) ○山田 亮・アルブレヒト 健・大戸 達彦・美濃出圭吾・山元公寿・夢田博一 (16:05~16:25)

S2 会場

第4校舎(B棟)J24

革新的な細胞システム解析に挑む化学

3月16日午前

(9:30~9:35)

- 1S2-01 特別企画講演** 趣旨説明 (名大院工) ○樫田 啓・秋吉一成 (09:30~09:35)

座長 高橋 康史 (9:35~10:10)

- 1S2-02 特別企画講演** 細胞多様性を明らかにする超並列1細胞ゲノム解析技術の創成 (早大ナノ・ライブ創新研究機構) ○細川正人 (09:35~10:00)
- 1S2-03 特別企画講演** 高分子ナノシートを利用した生体計測技術の開発 (早大高等研・JST さきがけ) ○藤枝俊宣 (10:00~10:25)
- 1S2-04 特別企画講演** 微細加工技術を用いた脂質二分子膜の作製とナノボア計測への応用 (東農工大院工) ○川野竜司 (10:25~10:50)

座長 細川 正人 (10:50~11:40)

- 1S2-05 特別企画講演** 超高感度 CE-MS 分析システムによる極微量オミックス解析 (理研 QBiC) ○川井隆之 (10:50~11:15)
- 1S2-06 特別企画講演** 拡張ナノ流体デバイスで切り開く単一細胞・単一分子分析 (東大院工) ○馬渡和真 (11:15~11:40)

座長 樫田 啓 (11:40~12:30)

- 1S2-07 特別企画講演** 組織中 lacZ 発現細胞のライブ検出を可能とする蛍光プローブの開発 (東大院医・東大院薬) ○神谷真子・浦野泰照 (11:40~12:05)
- 1S2-08 特別企画講演** 1細胞精密解析を可能にする超耐光性蛍光色素の創製 (名大 WPI-ITbM) ○多喜正泰 (12:05~12:30)

複雑系のための分子科学—理論、計測、合成の連携で拓く柔らかな分子の新機能

3月16日午後

(13:30~13:35)

- 1S2-09 中長期企画講演** 趣旨説明—理論、計測、合成の連携で拓く柔らかな分子の新機能 (理研田原分子分光研) ○田原太平 (13:30~13:35)

座長 藤井 正明 (13:35~14:00)

- 1S2-10 中長期企画講演** 実験と理論の協奏で拓く水表面の和周波分光研究の最先端 (1) (東北大院理) ○森田明弘・田原太平 (13:35~13:45)
- 1S2-11 中長期企画講演** 実験と理論の協奏で拓く水表面の和周波分光研究の最先端 (2) (理研田原分子分光研・東北大院理) 森田明弘○田原太平 (13:45~14:00)

座長 水谷 泰久 (14:00~14:50)

- 1S2-12 中長期企画講演** 気相赤外分光と非調和振動解析による分子認識に関わる生体分子の水素結合構造の解明 (1) (国研) 理化学研究所杉田理論分子科学研究室) ○八木 清・藤井正明 (14:00~14:10)
- 1S2-13 中長期企画講演** 気相赤外分光と非調和振動解析による分子認識に関わる生体分子の水素結合構造の解明 (2) (東工大科学技術創成研究院) 八木 清○藤井正明 (14:10~14:25)
- 1S2-14 中長期企画講演** 実験と計算による p53 の標的 DNA 配列探索機能 (1) (東大分生研) ○北尾彰朗・鎌形清人・高橋 聡 (14:25~14:35)
- 1S2-15 中長期企画講演** 実験と計算による p53 の標的 DNA 配列探索機能 (2) (東北大多元研) 北尾彰朗○鎌形清人・高橋 聡 (14:35~14:50)

座長 北尾 彰朗 (14:50~15:40)

- 1S2-16 中長期企画講演** 超分子カプセルの分子内包籠と動的挙動 (京大院理) ○林 重彦・吉沢道人 (14:50~15:00)

- 1S2-17 中長期企画講演** 超分子カプセルの分子内包籠と動的挙動 (2) (東工大科学技術創成研究院) 林 重彦○吉沢道人 (15:00~15:15)

- 1S2-18 Medium and Long-Term Program Lecture** Experimental and Theoretical Approach to (Extended Conjugated Unsaturated Hydrocarbon)-(Metal Cluster) Hybrid Compounds (1) (Dep. Chem., Sch. Sci., Kyoto Univ.) ○KURASHIGE, Yuki; MURAHASHI, Tetsuro (15:15~15:25)

- 1S2-19 中長期企画講演** 拡張共役系不飽和炭化水素と金属クラスターのハイブリッド化に向けた実験・理論アプローチ (2) (東工大物質理工・京大院理) 倉重佑輝○村橋哲郎 (15:25~15:40)

座長 神取 秀樹 (15:50~16:15)

- 1S2-20 中長期企画講演** ビレン励起ダイナミクスの超高速分光計測と解析によるアルキル化 π 液体分子に潜む「柔らかさ」の起源探求 (1) (物材機構 MANA) ○中西尚志・高屋智久 (15:50~16:00)

- 1S2-21 中長期企画講演** ビレン励起ダイナミクスの超高速分光計測と解析によるアルキル化 π 液体分子に潜む「柔らかさ」の起源探求 (2) (学習院大理) 中西尚志○高屋智久 (16:00~16:15)

座長 田原 太平 (16:15~17:25)

- 1S2-22 中長期企画講演** 機能転換と構造解析によるタンパク質機能のメカニズム解明 (1) (阪大院理) ○水谷泰久・神取秀樹 (16:15~16:25)

- 1S2-23 中長期企画講演** 機能転換と構造解析によるタンパク質機能のメカニズム解明 (2) (名工大院工) 水谷泰久○神取秀樹 (16:25~16:40)

- 1S2-24 Medium and Long-Term Program Lecture** Photosynthetic Light Harvesting: From Molecules to Membranes. (UC Berkeley) ○FLEMING, Graham (16:40~17:25)

(17:25~17:30)

- 1S2-25 中長期企画講演** Closing Remarks (東工大科学技術創成研究院) ○藤井正明 (17:25~17:30)

ここがポイント、日本人英語からの脱却

3月17日午後

(13:30~14:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第7回 日中若手化学者フォーラム

3月18日

(9:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

学際新領域の創成に向けた多様な電池技術

3月19日午前

(9:30~9:40)

- 4S2-01 特別企画講演** 趣意説明 (工学院大先進工) ○永井裕己 (09:30~09:40)

座長 松村 有里子 (9:40~10:40)

- 4S2-02 特別企画講演** エネルギー分野の研究開発動向と国際ベンチマーク (JST CRDS) ○島津博基 (09:40~10:20)

- 4S2-03 特別企画講演** 企業への環境への取り組み (三菱電機先端技術研) ○和田 昇 (10:20~10:40)

座長 和田 昇 (10:40~11:10)

- 4S2-04 Special Program Lecture** Electrochemical Energy Storage (NUS) ○LU, Li (10:40~11:10)

座長 永井 裕己 (11:10~12:00)

- 4S2-05 特別企画講演** 太陽光発電の現状と今後 (三菱電機) ○小島生正 (11:10~11:30)

- 4S2-06 特別企画講演** 光充電型リチウムイオン電池 -化学と物理の接点- (工学院大先進工) ○佐藤光史・永井裕己 (11:30~12:00)

S3 会場

第4校舎(B棟)J29

分子夾雑の生命化学

3月16日午前

(9:30~9:31)

- 1S3-01 特別企画講演** 分子夾雑の生命化学：趣旨説明 (京大院工)

○浜地 格 (09:30~09:31)

- 座長 浜地 格 (9:31~10:30)
1S3-02 特別企画講演 分子夾雑での遺伝子の機能とその制御 (甲南大 FIBER) ○杉本直己 (09:31~10:00)
1S3-03 特別企画講演 バイオシミュレーションにおける分子夾雑効果 (神戸大院システム情報) ○田中成典 (10:00~10:30)

- 座長 馬場 嘉信 (10:30~11:30)
1S3-04 特別企画講演 夾雑系有機化学の創薬応用 (九大院薬) ○王子田彰夫 (10:30~11:00)
1S3-05 特別企画講演 植物機能の制御を目指した分子夾雑の化学 (名大院理) ○萩原伸也 (11:00~11:30)

- 座長 杉本 直己 (11:30~12:30)
1S3-06 特別企画講演 分子夾雑に基づく新規機能性分子を活用したがん細胞・細胞外小胞解析デバイス (名大院工) ○馬場嘉信 (11:30~12:00)
1S3-07 特別企画講演 分子夾雑に基づく脳腫瘍細胞解析と脳腫瘍分子診断 (名大院医・名大院工・東北大院医) ○夏目敦至・山道 茜・大岡史治・鈴木啓道・青木恒介・笠間敏博・若林俊彦・加藤幸成・馬場嘉信 (12:00~12:30)

分子設計と分子技術： 社会に発展・革新をもたらす新機能の創出

3月16日午後

(13:30~13:35)

- 1S3-08 中長期企画講演** 趣旨説明 (東大院工) ○加藤隆史 (13:30~13:35)

- 座長 加藤 隆史 (13:35~13:40)
1S3-09 中長期企画講演 分子技術 CREST 説明 (中部大総工研) ○山本 尚 (13:35~13:40)

- 座長 吉成 信人 (13:40~14:25)
1S3-10 中長期企画講演 ソリューションプラスマ化学による高機能ナノカーボン材料の開発 (名大院工) ○上野智水・稗田純子・齋藤永宏 (13:40~13:55)
1S3-11 中長期企画講演 単一次元鎖磁石を構成要素とした二次元磁性体における磁気秩序化と磁化緩和現象 (東北大院理) ○影澤幸一 (13:55~14:10)
1S3-12 中長期企画講演 単分子磁石内包カーボンナノチューブの創製と解析 (東北大院理) ○中西 亮 (14:10~14:25)

- 座長 加藤 敬行 (14:25~15:25)
1S3-13 中長期企画講演 アニオン性硫黄架橋多核錯体をベースとするイオン性固体の合成とイオン伝導性 (阪大院理) ○吉成信人 (14:25~14:40)
1S3-14 中長期企画講演 低分子化合物を用いたタンパク質化学修飾制御の分子技術 (府立医大院医) ○伊藤幸裕 (14:40~14:55)
1S3-15 中長期企画講演 グラフェン表面における水の吸着と構造化 (電通大院情報理工) ○赤石 暁・中村 淳 (14:55~15:20)
1S3-16 中長期企画講演 分子技術 さきがけ説明 (東大院工) ○加藤隆史 (15:20~15:25)

- 座長 楊井 伸浩 (15:25~16:10)
1S3-17 中長期企画講演 鏡像タンパク質および鏡像核酸を合成するための分子技術の開発 (東大理) ○加藤敬行 (15:25~15:40)
1S3-18 中長期企画講演 低酸素状態で構造変換するタンパク質を用いる脳再生デバイスの創製 (医科歯科大脳統合機能研セ・JST さきがけ) ○味岡逸樹 (15:40~15:55)
1S3-19 中長期企画講演 生体内合成化学治療：動物内での生理活性分子合成 (理化学研究所田中生物機能合成化学研究室) ○田中克典 (15:55~16:10)

- 座長 田中 克典 (16:10~17:10)
1S3-20 中長期企画講演 ゲル化臨界クラスターを基盤としたゲルシステムの創製 (東大院工) ○酒井崇匡 (16:10~16:25)
1S3-21 中長期企画講演 革新的分子励起状態理論を基盤とする有機材料高次機能の制御設計 (京大院理) ○倉重佑輝 (16:25~16:40)
1S3-22 中長期企画講演 動く光を利用した分子配列技術の構築 (東工大化生研) ○宍戸 厚 (16:40~16:55)
1S3-23 中長期企画講演 フォトン・アップコンバージョン分子技術の開拓 (九大院工・九大 CMS・JST さきがけ) ○楊井伸浩 (16:55~17:10)

- (17:10~17:25)
1S3-24 中長期企画講演 おわりに (東大院工) ○加藤隆史 (17:10~17:25)

動的表面・界面錯体化学の最前線 —構造から機能への展開—

3月17日午後

- 座長 長谷川 美貴 (13:30~15:30)
2S3-01 中長期企画講演 金基盤上に蒸着した単分子磁石を用いた量子スピントロニクス最前線 (東北大院理) ○山下正廣 (13:30~14:15)
2S3-02 中長期企画講演 酸化グラフェンハイブリッドの開発と機能化 (熊本大院自然) ○速水真也 (14:15~14:45)
2S3-03 中長期企画講演 有機無機ペロブスカイト半導体を用いる太陽電池と光検出デバイス (桐蔭横浜大医工) ○宮坂 力 (14:45~15:30)

- 座長 唯 美津木 (15:30~17:30)
2S3-04 中長期企画講演 低次元配位ネットワークの界面合成と物理・化学機能 (東大院理) ○西原 寛 (15:30~16:15)
2S3-05 中長期企画講演 多孔性配位高分子ナノシートの2次元液相界面合成 (阪府大院工) ○牧浦理恵 (16:15~16:45)
2S3-06 中長期企画講演 表面での錯体・MOFの組み合わせからなるヘテロ接合体の化学機能 (中大理工) ○芳賀正明 (16:45~17:30)

第8回 日英シンポジウム

3月18日

(9:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

化学者のための放射光とはじめ —放射光小角 X線散乱の基礎と応用

3月19日午前

(9:30~9:35)

- 4S3-01 特別企画講演** 趣旨説明 (京大化研) ○高谷 光 (09:30~09:35)

- 座長 高谷 光 (9:35~12:25)
4S3-02 特別企画講演 放射光小角 X線散乱測定—基礎から応用まで (京大化研・理研放射光科学総合研究セ) ○竹中幹人 (09:35~10:05)
4S3-03 特別企画講演 放射光小角 X線散乱装置の概要および最新情報 (高エネ研) ○清水伸隆 (10:05~10:35)
4S3-04 特別企画講演 小角 X線散乱測定を用いた高分子材料の動的構造・物性解析 (九大先導研) ○小椎尾 謙 (10:35~11:05)
4S3-05 特別企画講演 小角 X線散乱の産業利用 (高エネ研) ○金谷利治 (11:05~11:25)
4S3-06 特別企画講演 高分子フィルムの小角 X線解析 (東レリサーチセンター) ○岡田一幸 (11:25~11:55)
4S3-07 特別企画講演 GISAXSを用いた両親媒性高分子薄膜の膨潤挙動解析 (クラレ) ○鎌田洋平 (11:55~12:25)

- (12:25~12:30)
4S3-08 特別企画講演 総評 (高エネ研) ○金谷利治 (12:25~12:30)

Coordination Asymmetry: Science of Asymmetric Structures and Functions

3月19日午後

(13:30~13:35)

- 4S3-09 Special Program Lecture** Opening remarks (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○SHIONOYA, Mitsuhiro (13:30~13:35)

- 座長 植村 卓史 (13:35~14:25)
4S3-10 Special Program Lecture Absolute structure determination by the crystalline sponge method: applications to asymmetric synthesis and natural product chemistry (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo) ○FUJITA, Makoto (13:35~14:00)

- 4S3-11 Special Program Lecture** Biohybrid Catalysts with a Protein Scaffold, an Asymmetric Second Coordination Sphere (Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.) ○HAYASHI, Takashi (14:00~14:25)

- 座長 寺西 利治 (14:25~15:15)
4S3-12 Special Program Lecture Local optical activity of nanomaterials (PMS, IMS) ○OKAMOTO, Hiromi (14:25~14:50)
4S3-13 Special Program Lecture Development of asymmetric magnetic coordination compounds (Grad. Sch. Pure Appl. Sci., Univ. of Tsukuba) ○TOKORO, Hiroko; OHKOSHI, Shin-ichi (14:50~15:15)

- 座長 君塚 信夫 (15:15~15:40)
4S3-14 Special Program Lecture Optical Activity in Chiral Nanoparticle system (Grad. Sch. Mat. Sci., NAIST) ○NAKASHIMA, Takuya

(15:15~15:40)

座長 塩谷 光彦 (15:40~16:25)

4S3-15 Special Program Lecture Asymmetric photoredox catalysis with chiral-at-metal complexes (Philipps-Univ. Marburg) ○ERIC, Meggers (15:40~16:25)

(16:25~16:30)

4S3-16 Special Program Lecture Concluding remarks (Mitsui Chemicals, Incorporated) ○KAWASHIMA, Nobuyuki (16:25~16:30)

S4 会場

第4校舎(B棟)32 教室

二次元物質の科学

—グラフェンなどの分子ナノシートが生み出す新世界 (CSJ カレントレビュー企画)

3月16日午前

(9:30~9:35)

1S4-01 特別企画講演 企画趣旨説明 (東大院理) ○西原 寛 (09:30~09:35)

座長 西原 寛 (9:35~12:30)

1S4-02 特別企画講演 ナノグラフェンの基礎科学 (東工大理) ○榎敏明 (09:35~10:00)

1S4-03 特別企画講演 グラフェンの伝導特性 (東大院工) ○長汐晃輔 (10:00~10:25)

1S4-04 特別企画講演 無機ナノシートの基礎~その多様な側面~ (九工大院工) ○中戸晃之 (10:25~10:50)

1S4-05 特別企画講演 無機ナノシート/有機化合物ハイブリッド材料の光機能 (山口大院創成科学) ○川俣 純 (10:50~11:15)

1S4-06 特別企画講演 メソポーラスシートの光学応用 (キャンノン) ○宮田浩克 (11:15~11:40)

1S4-07 特別企画講演 表面・界面を反応場として用いる二次元ポリマーの合成 (阪大院基礎工) ○戸部義人 (11:40~12:05)

1S4-08 特別企画講演 二次元高分子の化学合成~分子紐から分子シートへ~ (九州先端研) ○坂本純二 (12:05~12:30)

生命化学が先導する分子機能創成の最先端： 生体機能・生体分子を超えるためのアプローチ

3月16日午後

(13:30~13:45)

1S4-09 特別企画講演 趣旨説明 (東工大生命理工) ○金原 数 (13:30~13:45)

座長 松浦 和則 (13:45~14:40)

1S4-10 特別企画講演 プラトニックミセルの創製と生体材料への応用 (北九大国際環境工) ○櫻井和朗 (13:45~14:15)

1S4-11 特別企画講演 タンパク質を模倣したナノゲル粒子の pKa 制御と機能開発 (九大院工) ○星野 友 (14:15~14:40)

座長 上野 隆史 (14:40~15:30)

1S4-12 特別企画講演 人為的に設計した新しい生物分子モーターの合成 (情報通信研究機構神戸研究所未来 ICT 研セ) ○古田健也 (14:40~15:05)

1S4-13 特別企画講演 ナノに着目した新奇タンパク質の設計 (東北大院工) ○梅津光央 (15:05~15:30)

座長 三好 大輔 (15:30~16:20)

1S4-14 特別企画講演 天然ペプチドを超える抗菌性分子のバイオミメティック・デザイン (奈良先端大物質) ○安原主馬 (15:30~15:55)

1S4-15 特別企画講演 両性電解質高分子による超機能バイオマテリアル創成 (北陸先端大マテリアル) ○松村和明 (15:55~16:20)

(16:20~16:30)

1S4-16 特別企画講演 クローニング (九大院工) ○岸村顕広 (16:20~16:30)

Ex vivo バイオデバイス

—細胞・組織・臓器機能の分子理解と応用を目指して

3月18日午後

(13:30~13:40)

3S4-01 中長期企画講演 はじめに (阪大院工) ○民谷栄一 (13:30~13:40)

座長 民谷 栄一 (13:40~14:45)

3S4-02 Medium and Long-Term Program Lecture Organ-on-a-Chip: The new paradigm in physiologically relevant cell culture (MIMETAS) ○PAUL, Vulto (13:40~14:15)

3S4-03 中長期企画講演 Organs-on-a-chip への期待と技術的課題 (産総研創薬基盤) ○金森敏幸 (14:15~14:45)

座長 藤田 聡史 (14:45~16:00)

3S4-04 中長期企画講演 薬物動態解析のためのマイクロ人体モデルの開発 (群馬大院理工) ○佐藤記一 (14:45~15:15)

3S4-05 中長期企画講演 心毒性評価の臓器チップ開発に資するヒト交感神経系の生体外再構築 (産総研創薬基盤) ○木田泰之・高山祐三・櫛笥博子・若林玲実・森田唯加・竹内 純 (15:30~16:00)

座長 杉浦 慎治 (16:00~17:00)

3S4-06 中長期企画講演 Organ-on-a-chip 技術と骨髄機能の再現に向けた取り組み (京大白眉・京大院工) ○鳥澤勇介 (16:00~16:30)

3S4-07 中長期企画講演 薬物動態・毒性研究における細胞アッセイの現状と課題 ~次世代の細胞培養モデルへ求めること~ (エーザイ) ○柿木基治 (16:30~17:00)

(17:00~17:05)

3S4-08 中長期企画講演 終わりに (産総研バイオメディカル) ○藤田聡史 (17:00~17:05)

光機能性ソフトクリスタルの新科学

3月19日午前

(9:30~9:35)

4S4-01 特別企画講演 趣旨説明 (青山学院大理工) ○長谷川美貴 (09:30~09:35)

座長 長谷川 美貴 (9:35~10:05)

4S4-02 特別企画講演 光機能性ソフトクリスタルの現状と未来展望 (北大院理) ○加藤昌子 (09:35~10:05)

座長 加藤 昌子 (10:05~10:35)

4S4-03 特別企画講演 有機超弾性研究の紹介 (横浜市院生命ナノ) ○高見澤 聡 (10:05~10:35)

座長 長谷川 靖哉 (10:35~11:05)

4S4-04 特別企画講演 機能性相転移物質の科学と応用 (東大院理) ○大越慎一 (10:35~11:05)

座長 石井 和之 (11:05~11:35)

4S4-05 特別企画講演 フォトニックソフトマターの創成と機能制御 (北大院先端生命科学) ○龔 劍萍 (11:05~11:35)

座長 伊藤 肇 (11:35~12:05)

4S4-06 特別企画講演 光ソフトクリスタルの構造転移と結晶解析 (東工大理) ○植草秀裕 (11:35~12:05)

(12:05~12:10)

4S4-07 特別企画講演 おわりに (浜松ホトニクス) ○池村賢一郎 (12:05~12:10)

最新の発光測定技術が支える発光性材料開発の最前線

3月19日午後

座長 酒井 健 (13:30~13:55)

4S4-08 Special Program Lecture Opening remark: background of the IUPAC project for publishing the guidelines for luminescence measurements (Grad. Sch. Sci., Kitasato Univ.) ○ISHIDA, Hitoshi (13:30~13:55)

座長 野崎 浩一 (13:55~14:30)

4S4-09 Special Program Lecture Avoiding common pitfalls in luminescence spectroscopy (Durham Univ., Kitasato Univ., Swiss Federal Inst. of Tech. in Lausanne, Hong Kong Baptist Univ.) ○BEEBY, Andrew; ISHIDA, Hitoshi; BUNZLI, Jean-Claude (13:55~14:30)

座長 長谷川 美貴 (14:30~15:05)

4S4-10 Special Program Lecture Evaluation of Circularly Polarized Luminescence from Lanthanide Complexes and Application to Chiral Sensing System (Fac. Sci., Univ. of Toyama) ○IWAMURA, Munetaka (14:30~15:05)

座長 鈴木 健吾 (15:05~15:30)

4S4-11 Special Program Lecture Absolute emission quantum yield of singlet molecular oxygen in solution determined using an integrating sphere instrument (Grad. Sch. Sci. Tech., Gunma Univ.) ○TOBITA, Seiji; HASEBE, Naoya; YOSHIHARA, Toshitada; SUZUKI, Kengo (15:05~15:30)

座長 加藤 昌子 (15:30~15:55)
4S4-12 Special Program Lecture Fluorescence quantum yield measurements in highly purified organic crystals (Sch. Eng., Nihon Univ.)
○KATO, Ryuzi (15:30~15:55)

座長 石井 和之 (15:55~16:20)
4S4-13 Special Program Lecture Estimation of the emission quantum yield for luminescent lanthanide materials (Grad. Sch. Eng., Hokkaido Univ.)
○HASEGAWA, Yasuchika (15:55~16:20)

(16:20~16:30)
4S4-14 Special Program Lecture Closing remark (Fac. Sci., Kyushu Univ.)
○SAKAI, Ken (16:20~16:30)

S5 会場

第4校舎(B棟)39 教室

生体高分子を精密に合成し利用する ケミカルバイオロジー

3月16日午後

(13:30~13:35)

1S5-01 中長期企画講演 趣旨説明 (阪大院理) ○梶原康宏 (13:30~13:35)

座長 村田 道雄 (13:35~14:15)
1S5-02 中長期企画講演 核酸高次構造を制御するケミカルバイオロジー (阪大産研) ○中谷和彦 (13:35~14:15)

座長 藤本 ゆかり (14:15~14:55)
1S5-03 中長期企画講演 手作りの化学で小胞体の深奥に挑む (理研) ○伊藤幸成 (14:15~14:55)

座長 中谷 和彦 (14:55~15:35)
1S5-04 中長期企画講演 翻訳後修飾を理解するための複合タンパク質の精密化学合成 (阪大院理) ○梶原康宏 (14:55~15:35)

座長 深瀬 浩一 (15:50~16:30)
1S5-05 中長期企画講演 細菌細胞壁の化学合成と生体防御に関わる作用解析 (慶大理工) ○藤本ゆかり (15:50~16:30)

座長 梶原 康宏 (16:30~17:10)
1S5-06 中長期企画講演 細胞膜脂質と相互作用する天然物のケミカルバイオロジー (阪大院理) ○村田道雄 (16:30~17:10)

(17:10~17:30)
1S5-07 中長期企画講演 総合討論 閉会の挨拶 (阪大院理) ○梶原康宏 (17:10~17:30)

S6 会場

第4校舎独立館DB203

分子空間化学に基づいた 精密有機合成・機能展開

3月16日午前

(9:30~9:35)

1S6-01 特別企画講演 趣旨説明 (長崎大院水環) ○白川誠司 (09:30~09:35)

座長 五月女 宜裕 (9:35~11:15)
1S6-02 特別企画講演 超分子を用いた材料作製とマクロスケールでの空間制御による機能制御 (阪大院理) ○高島義徳 (09:35~10:05)

1S6-03 特別企画講演 芳香族性と共役の制御による機能性 π 電子系化合物の開発 (理研内山元素研) ○村中厚哉 (10:05~10:40)

1S6-04 特別企画講演 触媒の鍵穴制御による高次選択的反応の開発 (名大院工) ○石原一彰 (10:40~11:15)

座長 長田 裕也 (11:25~12:30)
1S6-05 特別企画講演 適応型化学反応制御を指向する π 相互作用を活用した自己集積型サレン錯体の開発 (東理大工) ○今堀龍志 (11:25~11:55)

1S6-06 特別企画講演 非対称超分子空間の構築と機能化 (東大院理) ○塩谷光彦 (11:55~12:30)

ルミネッセンス化学アンサンブル： キラリティーと発光の融合による化学の新潮流

3月16日午後

(13:30~13:35)

1S6-07 特別企画講演 趣旨説明 (阪大院工) ○森 直 (13:30~13:35)

座長 網本 貴一 (13:35~14:05)
1S6-08 特別企画講演 平面 π 電子系化合物の集積によって発現する超分子らせんキラリティーと発光 (広島大院理) ○灰野岳晴 (13:35~14:05)

座長 今井 喜胤 (14:05~14:35)
1S6-09 特別企画講演 CPL分光法による不斉励起状態の研究：黎明期、現状、将来展望 (奈良先端大物質) ○藤木道也 (14:05~14:35)

座長 荒木 保幸 (14:35~14:55)
1S6-10 特別企画講演 CPL測定システムの原理とその測定例の紹介 (日本分光) ○近藤吉朗・渡辺正行・永森浩司 (14:35~14:55)

座長 湯浅 順平 (14:55~15:20)
1S6-11 特別企画講演 錯体のCPL-単分子からエキシマーへ (成蹊大理工) ○坪村太郎 (14:55~15:20)

座長 廣瀬 崇至 (15:20~15:45)
1S6-12 特別企画講演 キラル自己組織化分子システムからの円偏光発光制御 (奈良先端大物質) ○中嶋琢也 (15:20~15:45)

座長 森 直 (15:45~16:30)
1S6-13 特別企画講演 カイロモルホロジー研究と分光学 (東理大研究推進機構総合研) ○黒田玲子 (15:45~16:30)

論説フォーラム

「グローバル社会をリードする化学者になろう！！」

3月17日午前

(10:00~12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

AMED・HFSP シンポジウム ～国際グラント・フェローシップへの招待～

3月17日午後

(13:30~16:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

市民公開講座 ～驚きのかぐく～

3月18日午後

(13:30~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

座長 山口 潤一郎 (13:30~14:20)
3S6-01 市民公開講座 創業の楽しさと難しさ (ペプチドリーム) ○外屋圭一 (13:30~14:20)

座長 中西 尚志 (14:20~15:10)
3S6-02 市民公開講座 ガウディと深海と化学 (海洋機構) ○出口 茂 (14:20~15:10)

座長 火原 彰秀 (15:10~16:00)
3S6-03 市民公開講座 進化する不可能立体：脳が作り出す不条理の世界 (MIMS) ○杉原厚吉 (15:10~16:00)

(16:20~17:00)
3S6-04 市民公開講座 年会落語 (落語協会) ○三遊亭歌武蔵 (16:20~17:00)

ノーベル賞特別講演会

3月19日午前

(10:30~11:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

座長 鈴木 孝治 (10:30~11:30)
4S6-01 微生物創薬と国際貢献 (北里研究所) ○大村 智 (10:30~11:30)

「ニホニウム」正式決定記念、特別講演会

座長 玉尾 皓平 (11:45~12:45)

4S6-02 新元素 ニホニウムの発見-理研・森田グループからの詳細報告-(理研)○羽場宏光 (11:45~12:45)

先端計測の動向 一研究を支える機器開発と共用プラットフォーム の構築—

(CSJ カレントレビュー企画)

3月19日午後

(13:30~13:40)

4S6-03 特別企画講演 趣旨説明:「先端計測の動向—研究を支える機器開発と共用プラットフォームの構築—」(東理大理工)○二瓶好正 (13:30~13:40)

座長 栗原 和枝 (13:40~14:40)

4S6-04 特別企画講演 次世代質量分析システムの開発(島津製作所)○田中耕一 (13:40~14:10)

4S6-05 特別企画講演 次世代 DNA シークエンサーの開発(名大院工)○馬場嘉信 (14:10~14:40)

座長 志水 隆一 (14:40~15:10)

4S6-06 特別企画講演 次世代電子顕微鏡の開発—原子分解能・ホログラフィー電子顕微鏡(日立製作所基礎研)○品田博之 (14:40~15:10)

座長 石田 英之 (15:10~16:30)

4S6-07 特別企画講演 誘電スペクトロサイトメーターによる単一細胞誘電分光(ソニー)○大森真二 (15:10~15:30)

4S6-08 特別企画講演 ガスクラスターイオンビームを用いた二次イオン質量分析法の開発(京大院工)○松尾二郎 (15:30~15:50)

4S6-09 特別企画講演 計測分析共用プラットフォームの構築(日本学術会議・分析化学分科会)○鈴木孝治・尾嶋正治・一村真悟 (15:50~16:30)

S7 会場

第4校舎独立館D101

有機合成化学を起点とするものづくり戦略

3月16日午前

(9:30~9:35)

1S7-01 特別企画講演 趣旨説明(理研田中生体研)○田中克典 (09:30~09:35)

座長 井川 和宣 (9:35~10:05)

1S7-02 特別企画講演 基幹化学プロセスのための超効率触媒開発(分子研・理研)○魚住泰宏 (09:35~10:05)

座長 中尾 佳亮 (10:05~10:35)

1S7-03 特別企画講演 配位子の精密設計を基盤とする新しい金属触媒機能の開拓(東工大理)○鷹谷 絢 (10:05~10:35)

座長 羽村 季之 (10:35~10:50)

1S7-04 特別企画講演 反応開発に立脚したものづくりの新展開(神奈川大理)○辻 勇人 (10:35~10:50)

座長 横島 聡 (11:00~11:30)

1S7-05 特別企画講演 多成分反応を用いた天然物合成と創薬展開(北大院薬)○市川 聡 (11:00~11:30)

座長 平井 剛 (11:30~12:00)

1S7-06 特別企画講演 有機触媒を基盤とする生理活性物質の全合成(東農工大院工)○長澤和夫 (11:30~12:00)

座長 大石 真也 (12:00~12:30)

1S7-07 特別企画講演 生物が選択した天然物合成戦略:糸状菌天然物を中心に(北大院理)○及川英秋 (12:00~12:30)

ハイブリッド自己組織化: 秩序形成における生命系と人工系の接点

3月16日午後

(13:30~15:00)

1S7-08 特別企画講演 動的秩序化により合成したサイボグ超分子(東大院理・東北大 WPI-AIMR・JST ERATO)○佐藤宗太 (13:30~

14:00)

1S7-09 特別企画講演 T4 ファージ由来蛋白質針による生体膜透過の動的秩序機構(東工大生命理工)○上野隆史 (14:00~14:30)

1S7-10 特別企画講演 タンパク質ナノブロックによる動的秩序構造形成(信州大繊維・信州大菌類微生物セ)木村尚弥・小林直也○新井亮一 (14:30~15:00)

座長 佐藤 宗太 (15:00~16:30)

1S7-11 特別企画講演 アルキニルヌクレオチドからなる人工 DNA の創出と核酸関連酵素反応への展開(富山大院薬)井上将彦○千葉順哉 (15:00~15:30)

1S7-12 特別企画講演 人工ラフトドメインを指向した脂質膜上での配位高分子合成(熊大院先端科学)○大谷 亮 (15:30~16:00)

1S7-13 特別企画講演 超耐熱性自己集合体の秩序形成(東大院総合)○平岡秀一 (16:00~16:30)

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2017

3月17日午後

(13:30~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

CREST & さきがけ 「超空間制御」合同シンポジウム ~超空間が拓く革新的機能と新素材~

3月18日

(10:00~16:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

複合アニオン化合物が拓く新しい物質化学

3月19日午前

(9:30~9:35)

4S7-01 特別企画講演 趣旨説明(東工大理)○前田和彦 (09:30~09:35)

座長 前田 和彦 (9:35~10:25)

4S7-02 特別企画講演 複合アニオン系合成の展望(京大院工)○陰山洋 (09:35~10:00)

4S7-03 特別企画講演 アニオンおよびカチオン制御による高活性光触媒の開発(東大院工)○堂免一成 (10:00~10:25)

座長 林 克郎 (10:25~11:15)

4S7-04 特別企画講演 機能性素材としての無機材料:何を作る? どう作る?(三菱化学科学技術研究センター)○瀬戸山 亨 (10:25~10:50)

4S7-05 特別企画講演 異種アニオン利用による新物質開拓(産総研産総研電子光技術)○荻野 拓 (10:50~11:15)

座長 荻野 拓 (11:15~12:05)

4S7-06 特別企画講演 ヒドリドイオンが固体中を動く—新物質創成と電気化学デバイスへの期待(東工大物質理工)○菅野了次・小林玄器 (11:15~11:40)

4S7-07 特別企画講演 酸化物中の微量の水素化物イオンの特定法(九大院工)○林 克郎 (11:40~12:05)

超分子化学におけるシナジー現象の最前線

3月19日午後

座長 鍋島 達弥 (13:30~14:45)

4S7-08 特別企画講演 趣旨説明:超分子化学におけるシナジー効果(筑波大数理)○鍋島達弥 (13:30~13:55)

4S7-09 特別企画講演 固液界面での自己集合単分子膜形成における様々なシナジー現象(阪大院基礎工)○戸部義人 (13:55~14:20)

4S7-10 特別企画講演 Self-sorting 超分子ファイバーの構築と機能(京大院工)○浜地 格 (14:20~14:45)

座長 前田 大光 (14:50~15:40)

4S7-11 特別企画講演 自己組織化により生じる特異な超分子構造の機能(広島大院理)○灰野岳晴 (14:50~15:15)

4S7-12 特別企画講演 界面シナジーでつなぐマクロとナノの世界:分子マシンを手で動かす(物材機構 MANA)○有賀克彦 (15:15~15:40)

座長 灰野 岳晴 (15:40~16:30)

4S7-13 特別企画講演 π 電子系イオンからなる次元制御型集合体の創製(立命館大生命科学)○前田大光 (15:40~16:05)

4S7-14 特別企画講演 正多角柱リング分子 Pillar[n]arene を基にした超分子材料の創製(金沢大院自然)○生越友樹 (16:05~16:30)

S8 会場

第4校舎独立館D205

精密設計反応場を利用した高難度変換反応の開発

3月19日午前

(9:30~9:40)

4S8-01 特別企画講演 趣旨説明 (東大院工) ○西林仁昭 (09:30~09:40)

座長 西林 仁昭 (9:40~10:55)

4S8-02 特別企画講演 水分子の特異な触媒的変換反応の開発 (分子研生命錯体) ○正岡重行 (09:40~10:05)

4S8-03 特別企画講演 多核チタンヒドロリド錯体による窒素分子変換反応の開発 (理研 CSRS) ○島 隆則 (10:05~10:30)

4S8-04 特別企画講演 二酸化炭素固定化反応における還元手法の開発 (東工大理) ○岩澤伸治 (10:30~10:55)

座長 佐藤 直正 (10:55~12:10)

4S8-05 特別企画講演 生体触媒の誤作動を利用するガス状アルカンの触媒的変換反応 (名大院理) ○荘司長三 (10:55~11:20)

4S8-06 特別企画講演 機能性配位子を有するイリジウム錯体触媒を用いた高難度脱水素化反応の開発 (京大院人環) ○藤田健一 (11:20~11:45)

4S8-07 特別企画講演 α -ヘテロカルボニル化合物の触媒的不斉合成 (名大 WPI-ITbM) ○大井貴史 (11:45~12:10)

(12:10~12:20)

4S8-08 特別企画講演 閉会挨拶 (三菱化学科学技術研究センター) ○佐藤直正 (12:10~12:20)

S9 会場

第4校舎独立館D312

分析手法を極めて生命現象に迫る

3月16日午前

(9:30~9:35)

1S9-01 特別企画講演 はじめに (物材機構 MANA) ○中西 淳 (09:30~09:35)

座長 佐藤 守俊 (9:35~10:25)

1S9-02 特別企画講演 光応答材料を用いる細胞集団移動現象の構成的分析 (物材機構 MANA) ○中西 淳 (09:35~10:00)

1S9-03 特別企画講演 生命現象理解のためのマイクロデバイスによる細胞培養環境制御技術 (日女大理) ○佐藤香枝 (10:00~10:25)

座長 佐藤 香枝 (10:25~11:10)

1S9-04 特別企画講演 生体膜マイクロチップが実現する膜タンパク質の高感度機能分析 (東大院工) ○渡邊力也 (10:25~10:50)

1S9-05 特別企画講演 分析化学を用いたバイオ研究ツールの実用化 (マイクロ化学技研) ○田澤英克 (10:50~11:00)

座長 中西 淳 (11:10~11:50)

1S9-06 特別企画講演 圧倒的大規模解析で発見された細胞接着誘導核酸アプタマー (東大院総合) ○吉本敬太郎 (11:10~11:35)

1S9-07 特別企画講演 生命現象を探索するための光操作技術 (東大院総合) ○佐藤守俊 (11:35~11:50)

座長 吉本 敬太郎 (12:00~12:25)

1S9-08 特別企画講演 核酸結合プローブの精密設計と RNA 検出・細胞内イメージング (東北大理) ○西澤精一 (12:00~12:25)

(12:25~12:30)

1S9-09 特別企画講演 おわりに (東大院総合) ○吉本敬太郎 (12:25~12:30)

就活生・若手研究者大集合！ 先端研究・ヒット商品開発の舞台裏 (男女共同参画シンポジウム)

3月16日午後

(15:00~17:15)

詳細は別掲ページをご覧ください。

あなたの将来を考えるランチオン相談会 ～企業が求める化学者像～

3月17日午前

(11:30~13:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2017

3月18日午前

(11:00~11:50)

詳細は別掲ページをご覧ください。

環境・安全シンポジウム 「化学物質のリスクアセスメント」

3月18日午後

(13:30~16:50)

詳細は別掲ページをご覧ください。

液相高エネルギー化学の新展開

3月19日午前

(9:30~9:40)

4S9-01 特別企画講演 趣旨説明 (阪大院理) ○八ッ橋知幸 (09:30~09:40)

座長 八ッ橋 知幸 (9:40~10:05)

4S9-02 特別企画講演 液中における微粒子のレーザー光熱変換過程 (愛媛大院理工) ○朝日 剛 (09:40~10:05)

座長 和田 裕之 (10:05~11:30)

4S9-03 特別企画講演 液中レーザー溶融法の最近の進展 (北大院工・産総研ナノ材料・島根大総合理工・東北大多元研) ○越崎直人・石川善恵・辻 剛志・中村貴宏 (10:05~10:30)

4S9-04 特別企画講演 液中レーザーアブレーション法による還元金属ナノ粒子の作製 (レーザー総研・関西大院理工) ○谷口誠治・佐伯拓 (10:30~10:55)

4S9-05 特別企画講演 水相における可視光レーザーアブレーション法による新規材料生成 ～高純度炭素材料の光化学反応とレーザーアブレーション～ (和歌山大院システム工) ○秋元郁子 (11:05~11:30)

座長 八ッ橋 知幸 (11:30~12:20)

4S9-06 特別企画講演 液相レーザーアブレーションによる機能性ナノ粒子の合成 (京大院工) ○下間靖彦 (11:30~11:55)

4S9-07 特別企画講演 ソリユーションプラズマによる異種元素含有カーボン材料の合成と特性評価 (芝浦工大・JST-CREST) ○石崎貴裕・和田雄大・Lee Hoonseung・Li Oi Lun (11:55~12:20)

(12:20~12:30)

4S9-08 特別企画講演 おわりに (東工大物質理工) ○和田裕之 (12:20~12:30)

SA 会場

第6校舎613 教室

学会賞

3月16日午前

座長 原 亨和 (11:00~12:00)

1SA-01 CSJ Award Presentation Creation of Organic Inorganic Hybrid Perovskite Solar Cell and Its High Efficiency Development (Grad. Sch. Eng., Toin Univ. of Yokohama) ○MIYASAKA, Tsutomu (11:00~12:00)

3月16日午後

座長 山内 薫 (13:00~14:00)

1SA-02 CSJ Award Presentation Creation of Novel Molecular Spectroscopy in Electronic Vibrational Transition-Basic Studies, Development of Instruments, and Application to Chemistry (Sch. Sci. Tech., Kwansei Gakuin Univ.) ○OZAKI, Yukihiko (13:00~14:00)

座長 戸部 義人 (14:30~15:30)

1SA-03 学会賞受賞講演 液晶と共役ポリマーとの融合化学の開拓と

展開 (京大院工) ○赤木和夫 (14:30~15:30)

座長 山本 陽介 (16:00~17:00)

1SA-04 CSJ Award Presentation Development of a New Methodology for Bond Activation and its Application to New Catalytic Reactions (Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.) ○CHATANI, Naoto (16:00~17:00)

会長講演・表彰式

3月17日午後

(15:30~17:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

学会賞

3月18日午前

座長 八島 栄次 (11:00~12:00)

3SA-01 CSJ Award Presentation Development of Dynamic Molecular and Macromolecular Systems based on Interlocked Structures (Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.) ○TAKATA, Toshikazu (11:00~12:00)

第24回 化学教育フォーラム
高大接続 ~ペーパーテスト偏重からの脱却~

3月18日午後

(13:30~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SB 会場

第6校舎623 教室

学会賞

3月17日午前

座長 西澤 精一 (11:00~12:00)

2SB-01 CSJ Award Presentation Construction, Fusion, and Functionalization of Liquid Crystals and Supramolecular Assemblies (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo) ○KATO, Takashi (11:00~12:00)

外国人の特別講演

3月17日午後

座長 白杵 豊展 (13:00~13:50)

2SB-02 Special Lecture From Sugars to Carbocyclic SGLT2 Inhibitors (CUHK) ○Tony K. M. Shing (13:00~13:50)

座長 石原 一彰 (14:00~14:50)

2SB-03 Special Lecture The Impact of Achiral Templates on Enantioselective Transformations (NDSU) ○SIBI, Mukund P. (14:00~14:50)

スプリングコンサート 2017

3月18日午後

(16:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

D1 会場

第4校舎独立館DB201

新規産業創生のカギを握る機能性材料

3月16日午前

セルロースナノファイバー2017

(9:30~9:40)

1D1-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (阪大産研) ○能木雅也 (09:30~09:40)

座長 江利山 祐一 (9:40~11:30)

1D1-05 ATP 招待講演 CNF 生産における化学改質の意義、TEMPO 酸化法の発見と展開 (東大院農) ○齋藤継之 (09:40~10:20)

1D1-09 ATP 招待講演 ナノセルロースの構造を活かした機能材料 (阪大院工) ○宇山 浩 (10:20~11:00)

1D1-13 ATP 依頼講演 リン酸エステル化によるセルロースナノファイバーの開発 (王子ホールディングス) ○尾崎拓里 (11:00~11:30)

3月16日午後

座長 今泉 光博 (12:30~15:10)

1D1-22 ATP 招待講演 プリントドエレクトロニクスにおける CNF の利用 (阪大産研) ○能木雅也 (12:30~13:10)

1D1-26 ATP 招待講演 CNF フィルムを用いた揮発性メモリ素子の開発 (九大先導研・阪大産研・imec・九大農) ○長島一樹・古賀大尚・Celano Umberto・能木雅也・北岡卓也・柳田 剛 (13:10~13:50)

1D1-30 ATP 招待講演 一味違う CNF 「キチンナノファイバー」とヘルスケア (鳥取大院工) ○伊福伸介 (13:50~14:30)

1D1-34 ATP 招待講演 物理処理と酵素処理を併用したタケナノファイバーの食品等への応用 (森林総研・昭和女子大・伊那食品工業) ○林 徳子・下川知子・池田 努・小川睦美・高尾哲也・中山榮子・栗原昌和・埋橋裕二・真柄謙吾 (14:30~15:10)

座長 渡部 英司 (15:20~16:30)

1D1-39 ATP 依頼講演 機能性添加剤 (食品、化粧品、塗料など) 向け CNF の開発 (日本製紙) ○河崎雅行 (15:20~15:50)

1D1-42 ATP 招待講演 ライフサイエンスを指向したナノセルロース・ナノキチンの複合化と加工法の開発 (岐阜大応用生物) ○寺本好邦 (15:50~16:30)

サンプル展示, 説明会 (16:30~17:30)

化学が拓くエネルギーイノベーション

3月17日午前

実用化を志向した太陽光エネルギー変換の最新技術

(9:20~9:30)

2D1-03 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (桐蔭横浜大院工・産総研太陽光発電研セ) ○宮坂 力・佐山和弘 (09:20~09:30)

座長 宮坂 力 (9:30~10:40)

2D1-04 ATP 依頼講演 新規前駆体材料を用いた塗布法におけるペロブスカイト層形成メカニズム解明 (京大化研) ○若宮淳志 (09:30~10:00)

2D1-07 ATP 招待講演 鉛ペロブスカイト太陽電池に係る基礎化学 (東大総括プロ) ○中村栄一 (10:00~10:40)

座長 佐山 和弘 (10:40~12:00)

2D1-11 ATP 招待講演 人工光合成: 太陽光エネルギーで CO₂ と水から有機物を合成 (豊田中研) ○森川健志 (10:40~11:20)

2D1-15 ATP 招待講演 再生可能エネルギーからの水素製造の経済性 (IEEJ) ○柴田善朗 (11:20~12:00)

3月17日午後

座長 佐山 和弘 (13:30~14:20)

2D1-28 ATP 基調講演 “Sustainability と経済的合理性の両立を目指す” ソーラー水素は如何に作り、使うべきか? (三菱化学) ○瀬戸山 亨 (13:30~14:20)

座長 池田 茂 (14:20~15:30)

2D1-33 ATP 依頼講演 可視光応答性光触媒および光電極を用いたソーラー分解および二酸化炭素還元 (東理大理) ○岩瀬顕秀・工藤昭彦 (14:20~14:50)

2D1-36 ATP 依頼講演 人工光合成のための水の酸化アノード (新潟大院自然) ○八木政行 (14:50~15:30)

座長 八木 政行 (15:30~16:40)

2D1-40 ATP 招待講演 二酸化炭素の光還元・資源化—燃料から化成品合成へ— (阪市大複合先端研) ○天尾 豊 (15:30~16:10)

2D1-44 ATP 依頼講演 粉末光触媒シートを用いた水分解による太陽光水素製造 (東大院工) ○久富隆史・堂免一成 (16:10~16:40)

3月18日午前

座長 阿部 竜 (9:30~10:50)

3D1-04 ATP 招待講演 人工光合成システムによる水素と有用化学品製造 (産総研太陽光発電研セ) ○佐山和弘 (09:30~10:10)

3D1-08 ATP 招待講演 太陽光水素生成光触媒の効率向上に向けた応用物理的アプローチ (東大院工) ○杉山正和 (10:10~10:50)

座長 松尾 豊 (10:50~12:00)

3D1-12 ATP 招待講演 有機金属ハライドペロブスカイト太陽電池の新展開 (東大先端研セ) ○瀬川浩司 (10:50~11:30)

3D1-16 ATP 依頼講演 有機系太陽電池の開発と耐久性評価 (CEREBE) ○山成敏広 (11:30~12:00)

3月18日午後

座長 瀬川 浩司 (13:30~14:20)

3D1-28 ATP 基調講演 ペロブスカイト太陽電池における界面制御と耐久性向上技術 (桐蔭横浜大院工) ○宮坂 力 (13:30~14:20)

座長 砂田 祐輔 (14:20~15:20)

3D1-33 ATP 依頼講演 量子ドット太陽電池の電荷分離界面の構築と高効率化への道筋 (電通大院情報理工) ○沈 青・豊田太郎 (14:20~14:50)

3D1-36 ATP Invited Lecture Application of Transparent Carbon Nanotubes Electrodes in Organic and Perovskite Solar Cells (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo) ○JEON, Il; KAUPPINEN, Esko; MARUYAMA, Shigeo; MATSUO, Yutaka (14:50~15:20)

座長 辻 良太郎 (15:30~16:40)

3D1-40 ATP 依頼講演 有機薄膜太陽電池の実用化を支える材料合成技術の開発 (筑波大院数理物質) ○桑原純平 (15:30~16:00)

3D1-43 ATP 招待講演 ペロブスカイト太陽電池の高性能化技術 (物材機構 GREEN) ○韓 礼元 (16:00~16:40)

D2 会場

第4校舎独立館DB202

未来のヘルスケアを支える革新技術

3月16日午前

未来医療を支える生体適合性材料

(9:50~10:00)

1D2-06 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (九大先導研) ○田中 賢 (09:50~10:00)

座長 西川 尚之 (10:00~11:10)

1D2-07 ATP 招待講演 バイオイオンエレクトロニクスへの挑戦 (早大院情報生産) ○三宅丈雄 (10:00~10:40)

1D2-11 ATP 依頼講演 Sensing Fabric "hitoe"によるIoT/ビックデータ時代の生体信号計測 (NTT 物性基礎研) ○塚田信吾 (10:40~11:10)

座長 田中 賢 (11:10~12:00)

1D2-14 ATP 基調講演 伸縮性エレクトロニクスのヘルスケア・医療応用 (東大院工) ○染谷隆夫 (11:10~12:00)

3月16日午後

座長 青井 啓悟 (13:00~14:10)

1D2-25 ATP 招待講演 将来の透析治療に望まれる理想の膜材質 (清永会矢吹病院) ○政金生人 (13:00~13:40)

1D2-29 ATP 依頼講演 新規非生物系止血材 (三洋化成工業研究開発本部) ○前田広景 (13:40~14:10)

座長 田中 賢 (14:20~15:10)

1D2-33 ATP 基調講演 医療を革新する細胞認識性バイオマテリアル再生医療から DDS 分野を目指す設計と開発 (国際科学振興財団) ○赤池敏宏 (14:20~15:10)

座長 大西 智之 (15:10~16:30)

1D2-38 ATP 招待講演 印刷技術を活用した細胞培養表面の開発と再生医療への展開 (大日本印刷研究開発社) ○高本陽子・土屋勝則 (15:10~15:50)

1D2-42 ATP 招待講演 ヒト iPS 細胞の 3 次元培養プラットフォーム技術 (旭硝子先端技研) ○熊谷博道 (15:50~16:30)
サンプル展示, 説明会 (16:30~17:30)

新規産業創生のカギを握る機能性材料

3月17日午前

IoT・AI 社会に貢献するマテリアル社会システム実現に向けて

(10:00~10:10)

2D2-07 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (阪大産研) ○関谷 毅 (10:00~10:10)

座長 関谷 毅 (10:10~12:20)

2D2-08 ATP 招待講演 診断医療における半導体バイオセンサの可能性 (東大院工) ○坂田利弥 (10:10~10:50)

2D2-12 ATP 招待講演 IoT 時代における 10 テラバイト光ディスクを目指した超多層ビット記録材料の開発 (産総研・ダイキン工業) 鎌田賢司○佐藤数行・田中義人 (10:50~11:30)

2D2-16 ATP 基調講演 有機 EL の材料からデバイスまで (山形大院理工) ○城戸淳二 (11:30~12:20)

3月17日午後

座長 仲島 厚志 (13:30~16:00)

2D2-28 ATP 基調講演 IoT/ビッグデータ時代に向けた化学材料のイノベーション (CEREBA) ○木村雅之 (13:30~14:20)

2D2-33 ATP 招待講演 生体と機械をつなぐマルチモーダルバイオイメージセンサ (豊橋技科大電気・電子情報工) ○澤田和明 (14:20~15:00)

2D2-37 ATP 招待講演 IoT 社会に向けた高分子アクチュエータの材料技術とその可能性 (産総研無機機能) ○杉野卓司・安積欣志 (15:00~15:40)

2D2-41 ATP インキュベーションタイム (15:40~16:00)

座長 飯野 裕明 (16:00~17:20)

2D2-43 ATP 招待講演 遠隔医療を志向した感染症の迅速核酸検査技術の開発 (産総研バイオメディカル) ○永井秀典 (16:00~16:40)

2D2-47 ATP 招待講演 IoT 技術と材料を活用した構造物ヘルスケア (阪大産研) ○関谷 毅 (16:40~17:20)

化学が拓くエネルギーイノベーション

3月18日午前

省エネルギー社会を目指した革新的化学品製造プロセス

(9:30~9:40)

3D2-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (産総研触媒化学融合研セ) ○佐藤一彦 (09:30~09:40)

座長 深谷 訓久 (9:40~10:30)

3D2-05 ATP 基調講演 フロー精密合成によるファインケミカルズの製造 (東大院理) ○小林 修 (09:40~10:30)

座長 世古 信三 (10:30~12:00)

3D2-10 ATP 招待講演 スマートコンビナート構想とコプロダクションピンチ統合解析 (シミュレーションテクノロジー) ○巽 浩之 (10:30~11:10)

3D2-14 ATP インキュベーションタイム (11:10~11:20)

3D2-15 ATP 招待講演 膜分離技術導入によるプロセス革新の可能性 (早大先進理工) ○松方正彦 (11:20~12:00)

3月18日午後

座長 中村 和明 (13:00~14:20)

3D2-25 ATP 招待講演 環境破壊、災害、縮小社会に立ち向かう連続フロー生産 (高砂ケミカル) ○齊藤隆夫 (13:00~13:40)

3D2-29 ATP 招待講演 ファインパブル有機合成: パッチからフローまで (静岡大院総) ○間瀬暢之 (13:40~14:20)

座長 原 賢二 (14:20~15:00)

3D2-33 ATP 依頼講演 超臨界流体クロマトグラフィーの基礎と将来展望 (日本分光) ○堀川愛晃 (14:20~14:50)

3D2-36 ATP インキュベーションタイム (14:50~15:00)

座長 土淵 毅 (15:00~16:10)

3D2-37 ATP 招待講演 誘電体バリア放電プラズマによるイオン化法を用いたガスクロマトグラフ検出器 (島津製作所) ○平岡敬朗 (15:00~15:30)

3D2-40 ATP 依頼講演 ロボットと人工知能で拓くサイエンスの未来 (産総研 Molprof) ○夏目 徹 (15:30~16:10)

座長 高谷 光 (16:10~17:00)

3D2-44 ATP 基調講演 キラルクロマト分離の歴史と最近の進歩 (名大) ○岡本佳男 (16:10~17:00)

(17:00~17:10)

3D2-49 閉会挨拶 (産総研触媒化学融合研セ) ○佐藤一彦 (17:00~17:10)

D5 会場

第4校舎独立館D205

新規産業創生のカギを握る機能性材料

3月16日午前

革新的膜工学の研究最前線

(9:30~9:40)

1D5-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (神戸大院工) ○松山秀人 (09:30~09:40)

座長 松山 秀人 (9:40~11:50)

1D5-05 ATP 基調講演 機能膜のシステム設計 ~エネルギーから水処理まで~ (東工大科学技術創成研究院・JST CREST・KAST) ○山口猛史 (09:40~10:30)

1D5-10 ATP 招待講演 機能性分離膜を用いた濃度差発電システム (山口大院創成科学) ○比嘉 充 (10:30~11:10)

1D5-14 ATP 招待講演 革新的膜工学のための新規な応答性膜システム材料の設計 (関西大化学生命工) ○宮田隆志 (11:10~11:50)

3月16日午後

座長 吉岡 朋久 (12:50~15:10)

1D5-24 ATP 基調講演 セラミック多孔膜による高度分離: ナノ~サブナノ細孔の設計、評価と応用 (広島大院工) ○都留穂了 (12:50~13:40)

1D5-29 ATP 招待講演 ゼオライト分離膜の設計手法と分離機能 (早大先進理工) ○松方正彦 (13:40~14:20)

1D5-33 ATP 招待講演 実用型炭素膜の開発と省エネ型ガス分離プロセスへの応用 (産総研化学プロセス) ○吉宗美紀 (14:20~15:00)

1D5-37 ATP インキュベーションタイム (15:00~15:10)

座長 中川 敬三 (15:10~16:10)

1D5-38 ATP 依頼講演 環境/エネルギー分野における日本特殊陶業の膜技術の取り組み (日本特殊陶業) ○伊藤正也 (15:10~15:40)

1D5-41 ATP 依頼講演 逆浸透膜の表面処理技術 (栗田工業開発本部) ○川勝孝博 (15:40~16:10)

座長 新谷 卓司 (16:10~17:10)

1D5-44 ATP 依頼講演 旭化成マイクロローザの濾過膜技術と今後の開発動向 (旭化成) ○藤村宏和 (16:10~16:40)

1D5-47 ATP 依頼講演 最先端逆浸透膜技術について (東レ地球環境研) ○木村将弘・小川貴史 (16:40~17:10)

(17:10~17:20)

1D5-50 閉会の辞 (神戸大院工) ○松山秀人 (17:10~17:20)

3月17日午前

これからの“ものづくり”とバイオミメティクス

(9:00~9:10)

2D5-01 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (千歳科技大理工) ○下村政嗣 (09:00~09:10)

座長 下村 政嗣 (9:10~10:40)

2D5-02 ATP 依頼講演 昆虫のロバストな化学センシング (神戸大院理) ○尾崎まみこ (09:10~09:40)

2D5-05 ATP 依頼講演 ナノパイル構造の多機能性とロバストネス

(東理大理工) ○吉岡伸也 (09:40~10:10)
2D5-08 ATP 依頼講演 昆虫飛行のロバストネスとバイオメテイクス (千葉大院工) ○劉 浩 (10:10~10:40)

座長 出口 茂 (10:50~11:50)
2D5-12 ATP 依頼講演 バイオメテイクス・データベース構築 (科博動物研) ○野村周平 (10:50~11:20)
2D5-15 ATP 依頼講演 ライフスタイルと繋ぐ BioTRIZ (新潟大工・阪大院工・長崎大工) ○山内 健・小林秀敏・小林 透 (11:20~11:50)

3月17日午後

座長 宮内 昭浩 (12:50~14:40)
2D5-24 ATP 基調講演 これからの“ものづくり”とバイオメテイクス (三菱総研政策経済研究セ) ○亀井信一 (12:50~13:40)
2D5-29 ATP 依頼講演 自然の美しさに学んだ構造発色シートの開発 (凸版印刷総合研) ○川下雅史 (13:40~14:10)
2D5-32 ATP 依頼講演 バイオメテイクス技術を活用したコンクリートの美観向上技術 - 「アート型枠」の開発 (清水建設技術研) ○辻埜真人 (14:10~14:40)

座長 平坂 雅男 (14:50~16:20)
2D5-36 ATP 依頼講演 国内企業の動向 (みずほ情報総研サイエンスソリューション) ○瀧見知久 (14:50~15:20)
2D5-39 ATP 依頼講演 バイオメテイクス国際標準化の動向 (日本ゼオン総合開発セ) ○阿多誠文 (15:20~15:50)
2D5-42 ATP 依頼講演 バイオメテイクス国際動向 フランスを中心に (阪大院工・理研 SPring8) ○齋藤 彰 (15:50~16:20)

(16:30~17:30)
2D5-46 パネルディスカッション バイオメテイクスの新トレンド、生物から工学への技術移転、我が国の政策課題など (千歳科技大理工・高分子学会・日立製作所・海洋機構海洋生命理工研セ・三菱総研政策経済研究セ) ○下村政嗣○平坂雅男○宮内昭浩○出口 茂○亀井信一 (16:30~17:30)

未来のヘルスケアを支える革新技術

3月18日午後

センシング技術が切り開く未来のヘルスケア

(13:00~13:10)
3D5-25 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (東大院理) ○小澤岳昌 (13:00~13:10)

座長 小澤 岳昌 (13:10~15:20)
3D5-26 ATP 招待講演 匂い計測が拓くヘルスケア：昆虫の嗅覚受容体を利用した超高感度匂いセンサの開発 (東大先端研セ) ○神崎亮平 (13:10~13:50)

3D5-30 ATP 招待講演 先制医療のための「キャピタス (体腔) バイオセンサ」と「生体ガス用可視化システム (探嗅カメラ)」 (医科歯科大生材研) ○三林浩二 (13:50~14:30)

3D5-34 ATP 招待講演 ウェアラブル脳波計によるヘルスケアへの応用の可能性 (情報通信研究機構情報融合研セ) ○成瀬 康 (14:30~15:10)

3D5-38 ATP インキュベーションタイム (15:10~15:20)

座長 櫻井 香里 (15:20~17:20)
3D5-39 ATP 招待講演 弾性表面波デバイスを用いたパームサイズ免疫測定キットの開発 (日本無線バイオセンサプロジェクト室) ○谷津田博美・小貝 崇・吉村直之・叶 浩司・後藤幹博 (15:20~16:00)

3D5-43 ATP 招待講演 ラマン分光法による生体組織解析とその応用 (堀場製作所開発本部) ○太田周志 (16:00~16:40)

3D5-47 ATP 招待講演 質量分析イメージングが可能にしたヘルスケア新製品開発 (国際マスマイジングセンター・浜松医大医) ○瀬藤光利 (16:40~17:20)

E9 会場

第4校舎独立館D311

化学が拓くエネルギーイノベーション

3月16日午前

次世代二次電池開発の最新動向

(10:30~10:40)
1E9-10 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (横国大院工) ○獨古 薫 (10:30~10:40)

座長 阿部 竜 (10:40~12:00)
1E9-11 ATP 招待講演 カーボンナノチューブベース自立電極の簡易・高速作製と革新的次世代電池への挑戦 (早大先進理工・早大理工研) ○野田 優 (10:40~11:20)

1E9-15 ATP 招待講演 次世代リチウム・ナトリウムイオン蓄電池用新規高容量正極材料 (電機大工) ○藪内直明 (11:20~12:00)

3月16日午後

座長 獨古 薫 (13:30~14:20)
1E9-28 ATP 基調講演 グリーンエネルギー社会に求められる蓄電池技術 (首都大都市環境) ○金村聖志 (13:30~14:20)

座長 久保木 貴志 (14:20~15:20)
1E9-33 ATP 依頼講演 新規リチウムイオン伝導性液体「ハイドレートメルト」を電解液とした3V級水系二次電池の可能性 (東大院工) ○山田裕貴・山田淳夫 (14:20~14:50)

1E9-36 ATP 依頼講演 LGPS型固体電解質の創製と高出力全固体電池開発 (東工大物質理工) ○平山雅章・鈴木耕太・菅野了次 (14:50~15:20)

座長 甲村 長利 (15:30~16:40)
1E9-40 ATP 招待講演 計算科学技術による蓄電池機構解明・材料設計 (物材機構 GREEN・物材機構 eMI2・京大 ESICB) ○館山佳尚 (15:30~16:10)

1E9-44 ATP 依頼講演 リチウムイオン電池のオペランド解析と高エネルギー密度化に向けた電極設計 (立命館大生命科学) ○折笠有基 (16:10~16:40)

座長 獨古 薫 (16:40~17:10)
1E9-47 ATP 依頼講演 亜鉛-空気電池の二次電池化技術 (京大院工) ○宮崎晃平 (16:40~17:10)

(17:10~17:20)
1E9-50 閉会挨拶 (横国大院工) ○獨古 薫 (17:10~17:20)

3月17日午前

水素技術が拓く新エネルギー社会

(10:00~10:10)
2E9-07 趣旨説明 水素技術が拓く新エネルギー社会 (東工大) ○秋鹿研一 (10:00~10:10)

座長 秋鹿 研一 (10:10~11:50)
2E9-08 ATP 基調講演 エネルギーミックスの中での水素エネルギー (東理大院イノ研) ○橋川武郎 (10:10~11:00)

2E9-13 ATP 招待講演 海外の水素製造の技術動向 (テクノバ調査研究部) ○丸田昭輝 (11:00~11:40)

2E9-17 ATP インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月17日午後

座長 丸田 昭輝 (13:00~14:20)
2E9-25 ATP 招待講演 苫小牧 CCS 実証試験と海外の現況 (日本 CCS 調査) ○田中 豊 (13:00~13:40)

2E9-29 ATP 依頼講演 水電解式水素製造技術について (日立造船地球環境ビジネス開発推進室) ○尾白仁志 (13:40~14:10)

2E9-32 ATP インキュベーションタイム (14:10~14:20)

座長 赤松 史光 (14:20~15:30)
2E9-33 ATP 依頼講演 液体水素による水素の大量輸送技術 (川崎重工技術開発本部) ○神谷祥二 (14:20~14:50)

2E9-36 ATP 依頼講演 水素の大規模貯蔵輸送技術 - “SPERA 水素” システムと将来に向けた応用展開 - (千代田化工建設プロジェクト開発事業本部) ○岡田佳巳 (14:50~15:20)

2E9-39 ATP インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 岡田 佳巳 (15:30~17:20)
2E9-40 ATP 招待講演 水素キャリアとしてのアンモニアの直接燃焼利用 - 工業炉への応用 - (阪大院工) ○赤松史光 (15:30~16:10)

2E9-44 ATP 招待講演 プロトン伝導性固体電解質形燃料電池の開発と電解合成への応用 (東大院新領域) ○大友順一郎 (16:10~16:50)

2E9-48 ATP 依頼講演 燃料電池自動車の社会実装とエコシステムの構築 (日産自動車) ○長谷川卓也 (16:50~17:20)

(17:20~17:25)
2E9-51 閉会挨拶 (東工大) ○秋鹿研一 (17:20~17:25)

未来のヘルスケアを支える革新技術

3月18日午後

未来のヘルスケアを切り拓くバイオベンチャー

(13:00~13:10)

3E9-25 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明：未来のヘルスケアを切り拓くバイオベンチャー（東大院理）○菅 裕明（13:00~13:10）

座長 大野 修（13:10~15:10）

3E9-26 ATP 基調講演 医療・健康産業を変える革新技術：細胞特異的リキッドバイオプシー（アルツハイマー病を例として）（AMED CREST）○滝川 修（13:10~14:00）

3E9-31 ATP 依頼講演 再生医療用の足場材料リコンビナントペプチドの開発と応用－写真感光材料で培った技術の応用展開－（富士フィルム）○吉岡康弘（14:00~14:30）

3E9-34 ATP インキュベーションタイム（14:30~14:40）

3E9-35 ATP 依頼講演 ナノメディシンの進む道（ナノキャリア）○中富一郎（14:40~15:10）

座長 出来島 康方（15:10~17:00）

3E9-38 ATP 依頼講演 次世代の核酸医薬品開発に向けたタグシクス・バイオの取組み（タグシクス・バイオ）○原田洋子（15:10~15:40）

3E9-41 ATP インキュベーションタイム（15:40~15:50）

3E9-42 ATP 依頼講演 樹状細胞がんワクチンの最前線（テラファーマ）○宮澤準一（15:50~16:20）

3E9-45 ATP 依頼講演 新興ベンチャーキャピタルによる未来開拓への挑戦（Beyond Next Ventures）○伊藤 毅（16:20~16:50）

3E9-48 ATP インキュベーションタイム（16:50~17:00）

P 会場 記念館

3月16日午後

(15:00~16:30)

エネルギー

1PC-001 安定有機中性ラジカルを活性物質とする有機二次電池の高性能化研究（愛工大工）○村田剛志・西山淳也・慶島美和・藤崎めぐみ・辻 良太郎・森田 靖

1PC-002 Development of Organic and Inorganic Hybrid Thermoelectric Materials by Palladium Nanoparticles Supported Carbon Nanotubes (Grad. Sch. Eng. Sci., Tokyo Univ. of Sci., Yamaguchi) ○OSHIMA, Keisuke; MATSUMURA, Takuya; INOUE, Junta; SHIRAIISHI, Yukihide; TOSHIMA, Naoki

1PC-003 二酸化炭素の電解還元による乳酸合成（産総研創エネ）○兼賀量一・尾西尚弥・村田和久・姫田雄一郎

1PC-004 Highly porous nitrogen-doped carbon nanospheres-supported Pt with high oxygen reduction activity for metal-air batteries and fuel cells (Adv. Mater. Dev. Sec., Tokyo Metropolitan Ind. Tech. Res. Inst.) ○TACHIBANA, Naoki; IKEDA, Saori; YUKAWA, Yasuyuki; SOMEKAWA, Shoichi; KAWAGUCHI, Masahiro

1PC-005 Synthesis and electrochemical properties of all graphene oxide electrochemical devices (Fac. Adv. Sci. Tech., Kumamoto Univ.) ○OGATA, Chikako; KUROGI, Ruriko; HATAKEYAMA, Kazuto; KOINUMA, Michio; MATSUMOTO, Yasumichi

1PC-006 Mechanistic Analysis of Electrocatalytic Water Oxidation by Monodisperse 10-nm-Sized Mn Oxide Nanoparticles (RIKEN CSRS) ○HAYASHI, Toru; JIN, Kyoungsook; SEO, Hongmin; BONNET-MERCIER, Nadège; HASHIMOTO, Kazuhito; NAM, Ki Tae; NAKAMURA, Ryuei

1PC-007 表面修飾により安定化した金属硫化物光触媒を水素生成系とするZスキーム型可視光分解（京大院工）○東 正信・松岡 輝・富田 修・阿部 竜

1PC-008 High-pressure hydrogen gas generation using water-soluble complex catalyst (RCPT, AIST) ○IGUCHI, Masayuki; HIMEDA, Yuichiro; KAWANAMI, Hajime

1PC-009 Sn系サルファハライド半導体の合成とその光電気化学特性（京大院工）○三谷健太・東 正信・阿部 竜

1PC-010 互変異性を示すシッフ塩基化合物の冷結晶化（デンソー・東大生研・筑波大数理）○岩瀬勝則・外山泰弘・吉川 功・北條博彦・山村泰久・齋藤一弥

1PC-011 Pt-Ni合金ナノ構造体電極触媒の合成とそのORR活性評価（北大院環境）○徳田翔一・小倉和也・加藤 優・八木一三

1PC-012 逐次的な電解重合による階層型ポリチオフェン積層膜の作製と光電気化学応用（滋賀県大工）○秋山 毅・平田修也・熊川 優・

鈴木厚志・奥 健夫

1PC-013 垂直配向CNT電極を用いた高容量リチウム硫黄二次電池（アルバック未来技術研究所・サムスン日本研究所）○福田義朗・中野美尚・野末竜一・塚原尚希・村上裕彦・面田 亮・山田好伸・伊藤清太郎・相原雄一

1PC-014 中温作動SOFC用アノード表面へのフレンケル欠陥会合クラスター生成が及ぼすアノード活性効果（鶴岡高専）○伊藤滋啓・佐藤貴哉・鈴木 彰・大久保 弘・森 利之

1PC-015 アイオノマー複合金属担持カーボン電極の撥水性及び酸素還元活性（北大院環境）○矢野祥平・加藤 優・八木一三

資源・環境・GSC(Green Sustainable Chemistry)

1PC-016 CeO₂ナノ触媒を利用したプラスチックの原料化（中大理工）○田口 実・石川由貴・片岡志帆・名嘉 節・船造俊孝

1PC-017 チタンを含むバナジウム酸化物アニオン分子の合成と触媒特性（金沢大院自然）○菊川雄司・藤田慧亮・林 宜仁

1PC-018 スマートデバイスを用いる水環境分析技術の開発と性能評価（富山高専）○間中 淳・古山彰一・袋布昌幹

1PC-019 Mn錯体を用いた水中における電気化学的CO₂還元反応（豊田中研）○佐藤俊介・森川健志

1PC-020 Dynamic control of polylactide nanostructure bearing aldehyde at the chain end (Inst. Res. Initi., NAIST; Grad. Sch. Mat. Sci., NAIST) ○KAN, Kai; AKASHI, Mitsuru; AJIRO, Hiroharu

1PC-021 アザクラウンエーテルを用いたアルカリ金属含有イオン液体の合成と性質（神戸大院理）○大場友紀子・持田智行

1PC-022 光応答性分散剤を利用するナノ炭素材料の製膜・パターン化技術の開発（産総研機能化学）○神徳啓邦・佐藤正健・中住友香・松澤洋子・木原秀元・吉田 勝

1PC-023 Photochemical Synthesis of Phenanthrobenzofurans by Using Continuous Flow Reactor (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; The Research Inst. for Molecular Electronic Devices, Osaka Pref. Univ.; Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○OGAKI, Takuya; KOGA, Soichiro; MATSUI, Yasunori; OHTA, Eisuke; IKEDA, Hiroshi

1PC-024 2価および4価スズサイトを含む酸化スズクラスターのサイズ選択的合成とCO酸化反応に対するサイズ依存性（東工大化生研・JST ERATO）○猪股雄介・アルブレヒト 建・山元公寿

1PC-025 Development of Mutual Separation Method of Platinum Group Metals using Primary Amines (Fac. Eng. Resource Sci., Akita Univ.) ○MATSUMOTO, Kazuya; YAMAKAWA, Sumito; JIKEI, Mitsutoshi

1PC-026 テトラアルコキシシランの直接合成における有機脱水剤の効果に関する研究（産総研触媒化学融合研セ）○深谷圭祐・深谷訓久・崔 星集・堀越俊雄・佐藤一彦・崔 準哲

1PC-027 Crystal-like Bipyridine-bridged Periodic Mesoporous Organosilica: Novel Catalyst Support for immobilization of Homogeneous Transition Metal Complex Catalyst (Inagaki Senior Fellow Lab., Toyota Central R&D Labs., Inc.) ○MAEGAWA, Yoshifumi; WAKI, Minoru; INAGAKI, Shinji

1PC-028 マイクロ波加熱を利用した不均一系触媒のフロー式溝呂木-Heck反応（岐阜薬大）○市川智大・水野将弘・上田 舜・大根田訓之・小田島博道・澤間善成・門口泰也・佐治木弘尚

1PC-029 光触媒への応用を目指した金ナノ粒子-酸化チタン超薄膜の開発（滋賀県大工・府大高専総合工）○満川翔太・秋山 毅・樋上幹哉・東田 卓・奥 健夫

1PC-030 深海中の水素産生菌の探索（神奈川工科大工）○蓮井瑞尚・小林健太・川上翔平・齋藤 貴・牧田寛子

1PC-031 CO₂-expanded bio-based liquids as novel reaction media for biocatalysis (Sch. Biosci. Biotech., Tokyo Tech.) ○HOANG, Nam Hai; YAMADA, Shinjiro; NAGASHIMA, Yoshihiro; MORI, Shuichi; KAGECHIKA, Hiroyuki; MATSUDA, Tomoko

1PC-032 Toward A Novel Strategy for Sustainable Eco-Friendly Asymmetric Syntheses: Supramolecular Asymmetric Photodimerization of 2-Anthracene-carboxylate Mediated by Synthetic Antibody. (IMRAM, Tohoku Univ.; UIC & Dept. Appl. Chem., Osaka Univ.; Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.) ○YOSPANYA, Wijak; SAKAMOTO, Seiji; ARAKI, Yasuyuki; NISHIJIMA, Masaki; INOUE, Yoshihisa; WADA, Takehiko

1PC-033 Catalyst-free Synthesis of Network Polymer Utilizing Nitrile N-Oxide Cross-linkers (Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.) ○SOGAWA, Hiromitsu; TANI, Misako; TSUTSUBA, Toyokazu; TAKATA, Toshikazu

1PC-034 形態制御されたリン酸銀の光触媒活性（三重大院工）○松田隼門・勝又英之・鈴木 透・金子 聡

1PC-035 都市機能支援を指向した機能性サイシートの開発（ニッック・都立産技高専）原田明美○田村健治

1PC-036 電子線還元法によるナノ粒子生成機構の検討（阪大工）○岡崎倫久・大竹宏明・松浦祥之・清野智史・中川 貴・山本孝夫

1PC-037 電極触媒による高温二酸化炭素水素化反応促進作用（豊田中研）○坂本淑幸・奥村公平・田中寿幸・葛谷孝史・今川晴雄

1PC-038 Learning from nature: Bioinspired Mn complexes for the reduction of CO₂ to formates and formamides (OIST) ○DUBEY, Abhishek; KHUSNUTDINOVA, Julia

1PC-039 節水小便器のトラップにおける次亜塩素酸水の除菌効果（TOTO 総研）○伊丹愛子・中村祐介・山本政宏

1PC-040 詳細構造解析に基づく逆浸透膜の高性能化（東レ）○菅田剛士・志村晴季・小川貴史・木村将弘

1PC-041 重金属を使用しないクリーンで新しい酸化技術（阪府大院

- 工・小畑産業) ○野元昭宏・西ヶ花 完・伊藤諳二・植島陸男・小畑剛平・小川昭弥
- 1PC-042** Electrochemical oxidation of cellulose without a harsh condition (Grad. Sch. Fac. Eng., Tokyo Univ. of Agri. and Technol.) ○YAMAKI, Eri; IKEDA, Kazuma; OHNO, Hiroyuki; NAKAMURA, Nobuhumi
- 1PC-043** エポキシモノリスを用いる異種材料接合法の新規開発 (阪府大院工) ○松本章一
- 1PC-044** Ruthenium-catalyzed Direct N-Alkylation of Amines with Carboxylic Acids (Grad. Sch. Sci., Eng., Yamagata Univ.) ○MINAKAWA, Maki
- 1PC-045** 排便臭分析による腸の健康状態評価 (TOTO 総研) ○池田麻衣・山本政宏
- 1PC-046** Contribution of Condensed structures with Conjugations to Photochemical Properties of Native Lignin Derivatives (Fac. Life Env. Sci, Pref. Univ. of Hiroshima) ○AOYAGI, Mitsuru; INOUE, Sara
- 1PC-047** 化学的耐久性に優れる有機無機ハイブリッド分離膜 (東レ地球環境研究所) ○西口芳機・徳山尊大・小川貴史・富岡洋樹・木村将弘
- 1PC-048** 逆浸透膜の造水安定化 (東レ地球環境研) ○岡部 淳・中辻宏治・小川貴史・木村将弘
- 1PC-049** パブリックトイレ空間の臭気発生メカニズムと対策技術 (TOTO 総研) ○池澤綾子・山本政宏
- 1PC-050** Methanolysis of polycarbonate without catalyst under microwave irradiation (Fac. Eng., Sojo Univ.) ○IKENAGA, Kazutoshi; KORI, Satoshi
- 1PC-051** 可逆反応性パイオベースネットワークポリマーの作製 (大阪府産技研) ○井上陽太郎・中橋明子・館 秀樹
- 1PC-052** イオン付着質量分析法による環境規制物質の一斉分析技術の開発 (東芝研究開発セ) ○沖 充浩・佐藤友香・服部佐江子

新素材

- 1PC-053** Controllable Broadband Optical Transparency and Wettability Switching of Biomimetic Temperature-Activated Solid/Liquid-Infused Nanofibrous Surfaces (Grad. Sch. Sci. Tech., Keio Univ.) ○MANABE, Kengo; SHIRATORI, Seimei
- 1PC-054** セルロースナノファイバーの分析評価技術 (JFE テクノリサーチ) ○細羽美奈子・川島夏実
- 1PC-055** 有機-無機ハイブリッドを基盤とした熱安定性メカノクロミック材料の創出 (京大院工) ○末永和真・田中一生・中條善樹
- 1PC-056** 新規エラストマー「シクロペンテンゴム」の開発 (日本ゼオン総合開発セ) ○似島広幸・奥野晋吾・角替靖男
- 1PC-057** 弾性有機単結晶の機械挙動と発光特性 (防衛大応化) ○林正太郎
- 1PC-058** カーボンナノチューブの化学修飾に基づく新たな近赤外発光素材の開発 (九大院工・九大 I₂CNER) ○白木智丈・白石智也・鬼塚悠・中嶋直敏
- 1PC-059** Au(111)上に成膜した単層グラフェンへの電気化学的分子修飾 (北大院環境・北大地球環境・北大院総化・北大院理・原子力機構量子ビーム) ○丹野 駿・佐藤祐輔・中島浩司・田村和久・保田 諭・村越 敬・加藤 優・八木一三
- 1PC-060** Development of Quaternary Ammonium Salt-type Novel Amphiphilic Ionic Liquid (Grad. Sch. Human. Sci., Nara Women's Univ.; Cosmos Technical Center Co., Ltd.) ○KAWAI, Risa; YADA, Shiho; YOSHIMURA, Tomokazu; HASHIMOTO, Satoru; SUZUKI, Toshiyuki
- 1PC-061** Pt Cluster Catalyst with Molecular-shape Selectivity Utilizing Dendritic Nanocavity (Lab. Chem. Life Sci., Tokyo Tech.; JST-ERATO; PRESTO, JST) ○KATO, Yuto; KAMBE, Tetsuya; IMAOKA, Takane; YAMAMOTO, Kimihisa
- 1PC-062** 近赤外吸収スクリーン色素を用いた近赤外光電変換 (阪府大院工) 田中翔太○前田壮志・藤原秀紀・八木繁幸
- 1PC-063** Property change of rotaxane-linked polymers by Star/linear topology transformation (Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.) ○AOKI, Daisuke; TAKATA, Toshikazu
- 1PC-064** Poly(acrylic acid)-*b*-polystyrene 被覆シリカを導入した polycarbonate 膜の作製とそのプロトン伝導性評価 (山形大院理工) ○志藤慶治・高橋佑樹・増原陽人・有田稔彦
- 1PC-065** Super Tough Polymer with Supramolecular “Nanoalloy” (Toray Industries, Inc.) ○NOMURA, Keiichi; TAKAMOTO, Tatsuya; KOBAYASHI, Sadayuki
- 1PC-066** White Emitting Proton Conducting Europium(III) based Metallo-Supramolecular Polymer (NIMS) ○YEMINENI, S L V Narayana; HIGUCHI, Masayoshi
- 1PC-067** 動的架橋点を施したエラストマー微粒子の創製と強靱なフィルムへの応用 (信州大繊維) ○広重聖奈・呉羽拓真・青木大地・澤田隼・青木大輔・高田十志和・鈴木大介
- 1PC-068** Metal titanium corrosion behaviour for surface scale removal to efficient titanium manufacturing (Grad. Sch. Eng., Kobe Univ.) ○YAMAMOTO, Shintaro; MAKI, Hideshi; MIZUHATA, Minoru
- 1PC-069** 有機無機メソ組織体薄膜への環境応答性付与による新規材料開発 (名大院工) ○原 光生・折戸大輝・脇谷尚幸・永野修作・関隆広
- 1PC-070** ナフタレン架橋型ウレア誘導体のフッ化物イオンに対する非線形応答特性 (山梨大院医工) 蜷川隼人○高橋正樹・小幡 誠
- 1PC-071** 講演中止

- 1PC-072** Fabrication of High-Performance Li₀-FePd/ α -Fe Nanocomposite Magnets (ICR, Kyoto Univ.; Adv. Mater. Eng. Div., Toyota Motor Corp.) ○MATSUMOTO, Kenshi; SATO, Ryota; TRINH, Thang Thuy; SAKUMA, Noritsugu; TERANISHI, Toshiharu
- 1PC-073** ヒドロシラン誘導体を用いた水分散セルロースナノファイバーの直接的表面修飾 (奈良高専物質工) ○西條真由・織田 望・杉山浩之・嶋田豊司
- 1PC-074** 湿式ジェット粉砕機を用いたシクロヘキサン/水系でのヒドロシランによるセルロースナノファイバーの直接的修飾法の開発 (奈良高専物質工) ○石川 進・織田 望・杉山浩之・黒崎 澤・嶋田豊司
- 1PC-075** 表面修飾ナノファイバー膜の水蒸気バリア性評価 (三菱電機先端技術研) ○泉谷 佑
- 1PC-076** Low temperature sintering copper fine particles used at 150 - 100°C (Grad. Sch. Eng., Hokkaido Univ.) ○YONEZAWA, Tetsu; TSUKAMOTO, Hiroki
- 1PC-077** 炭素繊維強化プラスチック(CFRP)用途エポキシ樹脂に関する理論的研究 (新日鉄住金化学) ○越智紀章・藤元伸悦・竹内玄樹・谷口裕一・林 敬一
- 1PC-078** 新規水溶性材料の開発 (ADEKA) ○原 憲司・入沢正福・宮田 渉・篠塚豊史・村井俊彦・斎藤誠一
- 1PC-079** 環状エラストマーの伸張特性に及ぼす包接率の効果 (東大院新領域) ○堀 綾香・加藤和明・伊藤耕三
- 1PC-080** セルロース誘導体を用いたフォトリソミックフィルムの作製 (山口大院創成科学) ○山崎鈴子・清水 大
- 1PC-081** Photoluminescent Copper(I) Pyridinophane Complexes: effect of steric bulk on structure and photophysical properties (OIST) ○PATIL, Pradnya; KHUSNUTDINOVA, Julia
- 1PC-082** エポキシ樹脂の物性値予測のための粗視化モデルの開発と検証 (新日鉄住金化学・東大先端研セ) ○庄司直幸・山下雄史
- 1PC-083** 高精度分子動力学シミュレーションのための分子間相互作用モデルの比較研究 (新日鉄住金化学・東大先端研セ) ○佐々木皓平・山下雄史
- 1PC-084** Development of a Soft Porous Crystal for light Olefin/Paraffin Separation (WPI-iCeMS, Kyoto Univ.) ○SEN, Susan; HOSONO, Nobuhiko; KUSAKA, Shinpei; HORI, Akihiro; SATO, Yohei; MATSUDA, Ryotaro; KITAGAWA, Susumu
- 1PC-085** バイオ PC 2 色成形界面の密着性向上技術開発 (デンソー) ○伊藤裕矢・後藤伸哉・小島和重
- 1PC-086** Two-step Syntheses of Fluorescent Enynes Using 1-Phosphorylpropyne as Starting Compound (Fac. of Eng., Okayama Univ. of Sci.; Hunan Univ. Sci. Tech.) ○ORITA, Akihiro; SHINOHARA, Kenta; NISHIDA, Takanori; PENG, Lifan

通信・エレクトロニクス

- 1PC-087** 有機無機ハイブリッド膜の光パターンニングと無電解銅めっきを用いたガラスと脂環式ポリイミドフィルム上への簡便な銅微細配線形成法の開発 (芝浦工大院理工) ○鷺江育生・大石知司
- 1PC-088** Development of Organic Semiconductor Based on Collaboration of Theoretical Simulation, Microflow Synthesis, and Device Fabrication (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; The Research Inst. for Molecular Electronic Devices, Osaka Pref. Univ.; Grad. Sch. Sci., Osaka Pref. Univ.; Rigaku Corp.) ○MATSUI, Yasunori; YAMAMOTO, Atsushi; ASADA, Toshio; KUMEDA, Motoki; TAKAGI, Kenichiro; SUENAGA, Yu; NAGAE, Kunihiko; OHTA, Eisuke; SATO, Hiroyasu; OGAKI, Takuya; NAITO, Hiroyoshi; KOSEKI, Shiro; IKEDA, Hiroshi
- 1PC-089** Synthesis and Luminescent Properties of Phosphorescent Dipyridophenazine-Platinum(II) Complexes with Hole-Transporting Dendrons on their Acetylde Ligands (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○MATSUURA, Hiroki; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki; SAKURAI, Yoshiaki
- 1PC-090** 有機エレクトロニクス材料合成を志向したアリアルトリアルキルシランのクロスカップリング反応 (中大院理工) ○小宮山剛司・南 安規・楡山爲次郎
- 1PC-091** Development of thermally tough electrochromic devices using metallo-supramolecular polymer (NIMS) ○SEINO, Yuki; KANAOKA, Miki; HIGUCHI, Masayoshi
- 1PC-092** Synthesis of highly orientated metal-organic framework nanosheet crystals composed of triphenylene derivative at air/liquid interfaces. (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; PRESTO, JST) ○OHATA, Takashi; MAKIURA, Rie
- 1PC-093** 生物模倣型金属触媒作用を用いた幅制御したグラフェンナノリボン合成 (京大エネ研) ○小島崇寛・宋 少堂・中江隆博・坂口浩司
- 1PC-094** Synthesis and Luminescent Properties of Tris-Cyclometalated Iridium(III) Complexes Bearing Hole- and Electron-Transporting Dendrons (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○OKAMURA, Naoki; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-095** Tuning of Excimer Emission from Phosphorescent Organoplatinum (II) Complexes Aimed at Non-Doped White Organic Light-Emitting Diode (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○OKAMURA, Naoki; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-096** DA 型高分子半導体溶液薄膜における界面配向形成の分子動力学計算による検討 (産総研 FLEC) ○米谷 慎・松岡悟志・堤 潤也・長谷川達生
- 1PC-097** ミリ波帯における銀ナノ粒子/カーボンファイバーを用いたポリ

マーコンボジットの電磁波吸収特性 (アルバック未来技術研究所)
○大沢正人・橋本夏樹・呉 承俊・林 茂雄

1PC-098 Brown/Transparent Electrochromic Device Fabrication using Cobalt Hexacyanoferrate Nanoparticle Ink (NRI, AIST) ○ELGHOO, Kholoud; KAWAMOTO, Tohru; HIROSHI, Watanabe; MAHMOUD, Emar; KAZUKI, Tajima

1PC-099 高機能性銀ナノ粒子による実装技術の開発 (環境レジリエンス・横国大院環境情報) ○長澤 浩・伊藤公紀・雨宮 隆

1PC-100 電気部品に活用される樹脂の薬液による劣化挙動 (オムロン材料技術部門) ○大谷 修

1PC-101 グラビアオフセット印刷による銀ナノ粒子インクを用いた透明電極の形成 (アルバック未来技術研究所) ○橋本夏樹・林 茂雄・呉 承俊・大澤正人

1PC-102 塗布型有機半導体材料におけるアルキル鎖長依存性: 層状ヘリコンパッキングの安定化および変調 (産総研 FLEC) ○峯廻洋美・田中睦生・都築誠二・井上 悟・山田寿一・熊井玲児・下位幸弘・長谷川達生

1PC-103 Metallo-supramolecular Polymer Nanosheets for Improved Electronic Properties (MANA, NIMS) ○CHAKRABORTY, Chanchal; MORIYAMA, Satoshi; HIGUCHI, Masayoshi

1PC-104 極少量のインクによる銀ナノインク組成と焼成膜特性の相関評価 (大阪市立工業研究所電子材料研究部・大研化学工業電子材料事業部) ○柏木行康・斎藤大志・長谷川貴洋・垣内宏之・千金正也

医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー

1PC-105 Development of Innovative Therapeutic Polymeric Micelles for Intractable Neurological Disease (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo; Neuro., Tokyo Med. and Dental Univ.; Innovation Center of NanoMedicine (iCONM)) ○ANRAKU, Yasutaka; KUWAHARA, Hiroya; YOKOTA, Takanori; KATAOKA, Kazunori

1PC-106 磁性-プラズモンハイブリッドナノ粒子を用いたオートファゴソームの単離 (北陸先端大マテリアル) ○高橋麻里・モハン プリヤンク・向井康治朗・武田裕一・松本多圭夫・松村和明・高倉正博・田口友彦・前之関信也

1PC-107 スマートヒドロゲル微粒子のネットワーク構造とタンパク質内包挙動の関係 (信州大繊維) ○蓬生健介・呉羽拓真・松井秀介・鈴木大介

1PC-108 Synthesis of Dipyrrophenazine Derivatives Bearing Electron-donating Side Arms and Their Photosensitization of Singlet Oxygen Generation (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; Grad. Sch. Eng., Hiroshima Univ.) ○HAYASHI, Yuichiro; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki; ENOKI, Toshiaki; OYAMA, Yusuke; OHSHITA, Joji; MATSUI, Yasunori; IKEDA, Hiroshi

1PC-109 Novel Bicycles with Unprecedented Stability Using Designed Surfactants (RIKEN CEMS) ○UCHIDA, Noriyuki; MATSUI, Ryoichi; AIDA, Takuzo; ISHIDA, Yasuhiro

1PC-110 Phenotypic Plasticity Intrinsic in Vesicle-based Model Protocell Emerged by Primitive Central Dogma (Grad. Sch. Arts and Sci., The Univ. of Tokyo) ○MATSUO, Muneyuki; KURIHARA, Kensuke; TOYOTA, Taro; SUZUKI, Kentaro; SUGAWARA, Tadashi

1PC-111 生理活性分子の超微量計測を可能にするフッ素 MR プロープを用いた分析システムの構築 (京大院工) ○成清颯斗・角田貴洋・田中一生・権 正行・中條善樹

1PC-112 Construction of a Macrocyclic Peptide Library with Induced β -Hairpin Motif and Discovery of β -Hairpin Peptide Ligands (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○YOSHIKANE, Takafumi; GOTO, Yuki; SUGA, Hiroaki

1PC-113 Development of post-translational acyl-transfer reactions toward formation of peptides with alkyl-backbone (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○KURODA, Tomohiro; GOTO, Yuki; SUGA, Hiroaki

1PC-114 Development of a post-translational chemical modification method toward oxazole-backbones via alkynglycine (Chem. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○TSUTSUMI, Haruka; GOTO, Yuki; SUGA, Hiroaki

1PC-115 海洋生物由来キヌレン産生抑制物質の探索 (工学院大先進工) ○佐々木智未・大野 修・浅井章良・滝川 修・松野研司

1PC-116 海洋生物由来のリポポリサッカライド (LPS) の機能を阻害する化合物の探索 (工学院大先進工) ○寺崎拓郎・松野研司・大野修

1PC-117 2-ナフチルメトキシメチル基の開発と立体選択的グリコシル化への応用 (九大院理) ○城 洋平・佐藤拓矢・大石 徹・鳥飼浩平

1PC-118 In vitro synthesis of various backbone-modified peptides by post-translational modification reactions (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○KATO, Yasuharu; GOTO, Yuki; SUGA, Hiroaki

1PC-119 マクロファージ活性化因子 GcMAF の食生活活性化作用に関する受容体の同定と作用機序の解明 (徳島大院生物資源) ○井亀沙紀・濱田 健・西川諒平・山田久嗣・Mette Martin・久保健太郎・乾 利夫・宇都義浩

1PC-120 kalkipyronin による栄養飢餓選択的な細胞死誘導機構の解明 (工学院大先進工) ○長屋裕貴・伊藤明美・岩崎有敏・末永聖武・松野研司・大野 修

1PC-121 DNA を足場としたペプチド連結反応の開発 (東大院工・東大先端研セ) ○梁瀬将史・林 剛介・岡本晃充

1PC-122 ウシ初乳由来マクロファージ活性化剤の創製と抗炎症作用機序の解明 (徳島大院生物資源) ○菜田依洋・濱田 健・井亀沙紀・青

野ゆかり・山田久嗣・Mette Martin・久保健太郎・乾 利夫・宇都義浩

1PC-123 人工機能性タンパク質の創製: キモトリブシン活性部位周辺への部位選択的分子導入 (金沢工大応化) ○畠山貴大・古賀雅人・小野 慎

1PC-124 Iron oxide nanoparticles for High performance positive MRI contrast agents (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo; RIKEN CEMS) ○TAKEUCHI, Toshiaki; SIM, Seunghyun; MIYAJIMA, Daigo; AIDA, Takuzo

1PC-125 脱水ヘテロ環化酵素 PatD に結合するペプチド配列の試験管内選択 (東大院理) ○竹植 悠・角田翔太郎・後藤佑樹・菅 裕明

1PC-126 Kinesin-driven active substrate for cells giving mechanical noise stimuli (Grad. Sch. Sci., Eng., Saitama Univ.) ○KAWAMURA, Ryuzo; UEHARA, Daiki; KOBAYASHI, Naritaka; NAKABAYASHI, Seiichi; YOSHIKAWA, Hiroshi

1PC-127 Synthesis and evaluation of heterodimers of macrocyclic peptides towards a novel peptide delivery method (Fac. Sci., The Univ. of Tokyo) ○MIYAIRI, Kyohei; GOTO, Yuki; SUGA, Hiroaki

1PC-128 内在性アルブミンを結合してステルス性を獲得する分子インプリント DDS ナノキャリア (神戸大院工) ○北山雄己哉・笹尾玲雄・藤 加珠子・松本 有・片岡一則・竹内俊文

1PC-129 Exploration of human protein-protein or peptide-protein interactions by means of mRNA display (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○YAJIMA, Ryo; KATOH, Takayuki; SUGA, Hiroaki

1PC-130 細胞内滞留性を獲得するペプチダーゼ蛍光プローブの開発 (東大院医) ○小原 翌・神谷真子・浦野泰照

1PC-131 Novel Method for Detection of Single Pathogenic Particle based on DNA Elongation Induced by Surface Plasmon Heating (Grad. Sch. Life and Env. Sci., Kyoto Pref. Univ.) ○KAWAHARA, Yuki; ISHIDA, Akito

1PC-132 On site derivatization of steroid by scanning probe electrospray ionization (Grad. Sch. Sci., Osaka Univ.) ○OTSUKA, Yoichi; KOBAYASHI, Kazuki; KOHIGASHI, Tsuyoshi; ARAKAWA, Ryuichi; MATSUMOTO, Takuya

1PC-133 抗腫瘍活性をもつキノコ菌糸体の培養および免疫賦活能の評価 (神奈川工科大工) ○長山純子・藤川大智・斎藤 貴

1PC-134 カチオン性脂肪族ポリカーボネートの抗菌活性と溶血性に及ぼす分子構造の効果 (山形大工) 高桑和樹・岸 昂平○齋藤慶太・吉弘綾乃・田中 賢・矢野成和・福島和樹

1PC-135 生分解性インジェクタブル型 IPN ゲルを用いた関節軟骨再生足場の開発 (東理大院総化) ○石川昇平・飯島一智・松隈大輔・橋詰峰雄・飯島道弘・大塚英典

1PC-136 CFA ケミストリーによる高選択的不可逆阻害剤の開発 (九大院薬) ○瀧田大和・進藤直哉・佐藤磨美・初山勇次・三浦千鶴・岡本恵・渡 公佑・小野真弓・王子田彰夫

1PC-137 講演中止

1PC-138 講演中止

1PC-139 高強度・低ファウリング中空糸膜の開発と膜利用発酵システムへの展開 (東レ地球環境研) ○小林 敦・武内紀浩・畠平智子・花川正行・耳塚 孝・木村将弘

1PC-140 Development of Conformational Code for Organic Molecules (CCOM) Program for the Input of Artificial Intelligence (AIST) ○IZUMI, Hiroshi

1PC-141 DHA・EPA 供給源としての鯨油活用技術 (山口県産技セ) ○岩田在博・小川友樹・吉田幸治・藤永篤史

1PC-142 Spectral properties of non-aggregative phosphorous-phthalocyanine in aqueous media (NIMS) ○ISAGO, Hiroaki; FUJITA, Harumi

1PC-143 植物成分の新機能発見-エポキシド不斉開環反応- (協和ファーマケミカル) ○竹内祐希・浅野健裕・津崎和也・和田浩一

1PC-144 Pancreatic Lipase Inhibitory Activity of Quinic Acid Derivatives (Grad. Sch. Sci., Osaka Pref. Univ.) ○MORIZANE, Masaaki; KITAGAWA, Kai; NISHIDA, Kotaro; KOJIMA, Hideo

1PC-145 高感度ラマン分光による金表面の DNA 塩基の吸着状態の解析 (埼玉大) 二又政之○関 雅子

1PC-146 NO₂ ガスを用いたコンパクトで可搬な新しい空間除染システムの開発 (エナ) ○阿久津東真・田村健治

1PC-147 ピペットチップ型蛍光イムノセンシングシステムによる腫瘍マーカーの高感度蛍光検出 (神戸大院工) ○高野恵里・志村宣明・秋場 猛・竹内俊文

1PC-148 丸岡触媒(R)を用いた不斉アルキル化による非天然アミノ酸の実生プロセス開発 (長瀬産業 L&HC) ○村上沙代子・山本憲一郎

1PC-149 難溶性リン吸着ポリマーの架橋率の測定法の確立 (東レ) ○高橋弘純・白木元明・徳岡麻里子